

2023年度 九州国際大学
インターンシップ実施報告書

《 目 次 》

● 令和5年度インターンシッププログラムを終えて ……	1
● インターンシップ概要	
1.インターンシップスケジュール ……	2
2.実習企業先一覧 ……	3
● 実習レポート ……	4~59
● インターンシップ実習風景 ……	60~61
● インターンシップご協力のお願い ……	62

令和5年度インターンシッププログラムを終えて

関係機関の皆様

就職・進路部長 松本 幸一

平素より本学のキャリア教育にご理解いただき、また本年度のインターンシップ開催に多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年度5月8日から新型コロナウイルス感染症が「5類」相当へと移行されましたが、様々な留意が求められたなかでのインターンシップ実施となりました。企業及び諸団体・自治体の皆様におかれましては、こうした厳しい状況にもかかわらず、実習生のお引き受けを頂きましたこと厚くお礼申し上げます。皆様のご厚意により、学生にとって有意な就業体験の機会を得ることができました。

九州国際大学は、地域や社会の課題を皆様と共に解決し、新たな価値の創造への積極的な貢献が求められています。こうした取り組みを継続して行うことで、大学が地域等に支えられる機関として、地域に貢献する人材の育成に注力することができます。なかでもインターンシッププログラムは、学生が地域のすぐれた企業を理解するとともに、就職への意欲を高める重要な機会と位置づけております。

特にインターンシップは、業界や職種などに関する知識を得るだけでなく、社会人としてこれからの時代を歩み続けるため、自律的に何を習得すべきかについて学生が気付く機会にもなります。インターンシップでのあらゆる経験が学生の成長を促し、卒業後の社会人生活のなかにおいても大切な礎となるでしょう。関係機関の皆様におかれましては、お忙しい業務のなか様々なプログラムを組み込んで頂きましたこと、そして実習の場をご提供頂きましたこと改めてお礼申し上げます。

九州国際大学では地域社会への使命として、北九州地区を中心とした地元地域へ就職を希望する学生へのマッチングを高めるため、今後とも教職員が一体となって取り組んでまいります。引き続き、学生へのご指導とご支援および本学キャリア教育活動へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和5年11月吉日

●インターンシップ概要

1.インターンシップスケジュール

3月下旬～
4月初旬

インターンシップ事前ガイダンス・オリエンテーション

- インターンシップに参加しよう!
- 申込手続きデータ配信

4月～7月

事前研修

◆事前研修 1～7 ※全て対面にて実施

- 企業側の IS の狙い
- 自己分析、業界・企業研究
- 学内・企業提出用 ES 作成
- 企業・大学・学生間の「覚書」「誓約書」の作成
- 決定企業への連絡方法(電話・挨拶・初日の確認等)
- 事前訪問の心得
- 就業時の注意・トラブル防止等

- ライフワーク・実用ビジネスマナー研修(事前研修 1・6・7)

講師:社員教育接遇マナー研究所

代表 俵 純子 氏

8・9月

インターンシップ

- 九州国際大学インターンシップ 51 名
- 北九州商工会議所 5 名

10 月

事後研修

- グループワーク
- プレゼン発表
- 総評

講師:社員教育接遇マナー研究所

代表 俵 純子 氏

2.実習企業先一覧 (五十音順・敬称略)

	企業名	参加人数	法学部 法律学科	現代ビジネス学部 地域経済学科	現代ビジネス学部 国際社会学科	※1年生
1	池田興業(株)	1		1		
2	(株)井筒屋	3	1	2		
3	(株)エイブル	4	2	2		
4	エフコープ生活協同組合	1	1			
5	北九州商工会議所	1		1		
6	(一財)休暇村協会	1			1	
7	九州東邦(株)	2	1	1		
8	(株)九州パール紙工	1	1			
9	(株)九州マツダ	1	1			
10	(株)ギラヴァンツ北九州	2	1	1		
11	計測検査(株)	1		1		
12	子ども発達支援センターいっぽ	2	1		1	
13	(株)サンリブ	2		2		1
14	(株)ジェイコム九州北九州局	1			1	
15	(株)しろみず	2		2		
16	(株)スタジオアリス	2		2		
17	学校法人能美学園星琳高等学校	2	1	1		
18	第一生命保険(株)	1			1	
19	大英産業(株)	2		1	1	
20	田川市役所	1	1			
21	鶴丸海運(株)	1		1		
22	中間市役所	1	1			
23	西鉄旅行(株)	1	1			
24	西日本フード(株)	2	2			
25	日本電通(株)	1		1		
26	ネットヨタ北九州(株)	2		2		
27	(株)ハウディ	3	2	1		
28	(株)ハローデイ	1	1			
29	防衛省自衛隊(福岡地方協力本部)	3	3			
30	(株)ホットウィル	1	1			
31	ホテルクラウンパレス北九州	2		1	1	1
32	(株)山本工作所	1	1			
33	(株)ゆめマート北九州	1	1			
34	(株)芳野ケアサポート	1	1			
35	(株)リーガロイヤルホテル小倉	2	1	1		
	合 計	56	26	24	6	2

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	池田興業株式会社		
実習期間	2023年8月22日(火)から8月23日(水)まで	実習日数	2日間

●全日程の具体的実習内容

8/22(火) 会社説明会 職場体験(財務部・企画部) 座談会	8/23(水) 門司支店・キルン事業部見学 職場体験(輸送課) 二日間のまとめ(感想の発表)
---------------------------------------	--

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

インターンシップを通じて、自分自身の今後伸ばすべき要素と、足りていない要素を十分に実感することが出来ました。体験中に気を付けた点は社員の方に積極的に声を掛け、疑問を素早く解決することです。座談会では、社員の方へいくつか質問を行うことができ、事前に準備したことが活かされたと考えております。反面、緊張感が拭えず、社員の方の助けを借りた場面があり、自分自身の行動のなかで「自主性」が足りない要素であると実感しました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

ビジネスマナーです。二日目に輸送課にて、トラックの配車に関する電話対応の体験を行いました。その際、社員の方々から実際に電話対応している姿を間近で拝見し、挨拶や言葉遣いなどが徹底されていたことが印象深かったです。二日間、各課での業務体験がメインであったため、実際に業務に携わっている社員の方々の姿をたくさん見ることが出来ました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

一つ一つの行動や言動に気を配る場面が多く、実際に社会に出て働くには多くの責任が伴うということを学びました。今回の実習は学生生活では出来ない経験であったため、とても新鮮で楽しかったです。しかし、このまま社会に出るのは不安だとも感じました。今後、就職活動を進めていくうえで、多様な業界や業種を学ぶ機会が多いと考えます。その際、インターンシップでの経験を活かし、不安を解消していけるよう努めていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【 実 習 レ ポ ー ト 】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社井筒屋		
実習期間	2023年9月13日(水)から9月19日(火)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/13(水) オリエンテーション・グループワーク 売場実習	9/17(日) 接客・袋詰め・商品だし
9/14(木) 接客・袋詰め	9/19(火) 接客・袋詰め・レジ打ち・商品の点検 グループワーク・発表
9/16(土) 接客・袋詰め	

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

インターンシップを通して、年齢層に応じたお客様対応と、社会人として働くことの厳しさを知ることが出来ました。反省点は、間違った言葉遣いをしてしまう場面があったところです。強みである継続力と、課題を達成する力を発揮出来たことは良かったと感じました。自分の明確な弱点を見つけ、少しでも克服することが出来たと感じたため、充実したインターンシップにするという目標は達成出来たと考えます。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

状況に応じた対応力と、自分自身のやるべきことを考え抜く力が身に付いていると感じました。そう感じた理由は、商品の大きさに応じて袋の大きさを変え、お客様が持ちやすいような詰め方をしたり、重さに応じて袋を二重にして耐久力を高めるといった工夫をしていたからです。そして5日間の実習では、最後まで自分の強みを出し切り、仕事に取り組む継続力と課題を達成する力を身に付けられたと感じています。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

私はインターンシップのなかで、対応力の大切さを学びました。株式会社井筒屋ではお客様のことを第一に考えた対応を心掛けていますが、全ての要望には応えられないということを知りました。それは、お客様から「マスクをしていると声が通らないため、マスクを外して欲しい」との要望に、「新型コロナウイルスの感染対策のため応えられない」と答えていたことからです。今後も周りのことを考えながら、良い印象を与えることが出来る人材を目指していきます。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社井筒屋		
実習期間	2023年9月13日(水)から9月19日(火)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/13(水) 会社説明・入店オリエンテーション
グループワーク・店舗で実習

9/14(木) 商品の発注・館内設備見学・釣銭準備
レジの練習・催事の準備・値札の貼り換え

9/17(日) 接客・検品・商品の包装・品出し

9/19(火) 接客・レジ打ち・外商の方に送る商品の準備

9/16(土) お客様の案内・館内設備見学・レジ打ち
品出し・商品の包装

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

今回の実習を通して、百貨店での接客や仕事は、マニュアル通りにはいかないということを実感出来ました。私自身、初対面の方と話すのは苦手なのですが、従業員の方々から指導していただき、積極的にお客様へ声を掛けることが出来ました。だ、お客様へ声を掛けるタイミングもあるため、難しいと感じました。社会に出た時、人とのコミュニケーションは必ず必要になるため、卒業までに初対面の方とも話せるようになりたいです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

どんな状況でも臨機応変に対応出来る能力や、お客様に商品の魅力を上手に伝え、購買意欲を沸かせる能力が身に付いていると感じました。私は紳士用品の売り場で実習をさせて頂いたのですが、従業員の方々には来店されたお客様によって薦める商品を変えたり、お薦めの商品がお客様の目に留まるように目線の位置に並べていたり、細かな工夫が見受けられたからです。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

インターンシップを通して、百貨店の裏で行われている仕事や、お客様に満足して頂ける接客、社会人として必要な対応力などを学びました。どんな仕事にもマニュアルはありますが、全てがマニュアル通りに進んでいくわけではないため、お客様一人ひとりに臨機応変に対応することが大切です。また、受け身で仕事に取り組んでも成長は出来ないため、今回学んだ「積極的に行動する」ということを、今後も忘れず活かしていきたいと考えています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社井筒屋		
実習期間	2023年9月13日(水)から9月19日(火)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/13(水)	オリエンテーション・マナー研修・会社説明	9/17(日)	伝票作成・検品作業・精算
9/14(木)	在庫整理・売場見学・売場整理	9/19(火)	セール準備・在庫整理・伝票作成
9/16(土)	在庫整理・ディスプレイの変更・伝票作成		グループワーク・発表

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

私は、第一印象を良くするために必要なことや、臨機応変な対応力を学ぶという目標を立てました。実習を通して、人の印象は僅かな時間で決まってしまうことを知りました。また、クッション言葉を用いることや、丁寧な言葉遣い、マナーを学ぶことが出来ました。反省点は、作業に集中してしまい、接客が出来なかったことです。しかし作業を通して、テキパキとメリハリをつけて行動することの重要性に改めて気付くことが出来ました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

コミュニケーション力だけでなく、対応力を身に付けていると感じました。例えば、接客の際にお客様の状況を確認し、最初のアプローチとして話し掛けるのか、話し掛けないのかという見極めです。このタイミングを間違えてしまうと無視をされたり、しつこいというクレームに繋がるということを知り、驚きました。お客様の動向を見て判断する必要があることや、コミュニケーション力だけでなく、状況をしっかりと確認して対応することが必要不可欠であると学ぶことが出来ました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップを通して、臨機応変な対応力だけでなく気付き力の重要性を感じました。周りの状況を見て、今自分が何をすべきか、相手が何を求めているのかに気付くことが対応力などにも繋がるのではないかと考えました。また、マナーや第一印象に関しては笑顔を忘れないことも大切であると学ぶことが出来ました。そのため、アルバイトや今後の生活の中でも、これらのことを意識して積極的に行動し、成長していきます。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社エイブル		
実習期間	2023年9月4日(月)から9月8日(金)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/4(月) オリエンテーション・ドラマ型会社説明 カメラマナー研修・研修課題の説明	9/7(木) 物件の写真撮影・写真のアップロード 手付け同行
9/5(火) 営業見学・内見同行・物確同行	9/8(金) 研修課題発表・グループワーク・プレゼン発表
9/6(水) リフォームの打ち合わせ同行・営業見学 ネット掲載の更新	

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

実習を通しての成果は、お客様に対するおもてなしを学習出来た事です。下曽根店は入ってすぐのところカウンターやテーブルがあり、オープンな印象でした。そのため、お客様が入店された際はすぐに気付くことができ、笑顔でおもてなしをすることで、明るい雰囲気が出来ていました。目標であった不動産仲介業の仕事内容の学習は、社員の方々が温かく教えてくださいまして十分に達成出来ました。想像以上に幅広い仕事があり、とても大きな収穫でした。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルは、場の空気を和ませるという事です。不動産のお店は住まいを決める場所であるため、慎重で重たい空気になると考えていました。ですが、エイブルの社員の方々は内見や営業の際、お客様とのコミュニケーションを積極的に交わしていました。そうすることで、お客様に親しみやすい環境を作ることができ、お部屋が決まる頃には話しやすい関係になっていました。相手が過ごしやすい環境になるよう配慮することは、とても大切だと学びました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

私が今後活かしていきたいと考えたことは、相手の考えを引き出すということです。不動産仲介業では、お客様に合ったお部屋探しをするのが主な仕事であるため、お客様の求める条件を引き出さなければなりません。そのためには相手への配慮が必要です。これは、今後コミュニケーションをとるうえで大切だと考えるため、他人との繋がりを広げられるよう活かしていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【 実 習 レ ポ ー ト 】

学部・学科	現ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社エイブル		
実習期間	2023年9月4日(月)から9月6日(水)まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

- 9/4(月) オリエンテーション、ドラマ型会社説明会
カメラ研修、マナー研修
- 9/5(火) お茶出し、車内清掃、電話対応
ネット発信業務、物件確認
- 9/6(水) 物件案内、物件確認、ネット発信業務

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

不動産業界について知識がない状態で参加したのですが、初日の研修で開発、建設、仲介、管理について学ぶことが出来ました。また、ビジネスマナーやカメラ研修、電話対応の練習も行いました。二日目からは店舗に配属され、実際に物件のオーナー様と電話でやり取りが出来ました。一日目の研修や、自分が撮った物件がホームページに掲載されていることが自信となり、二日目からは主体的に行動することができ、成果を得ることが出来ました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

営業職ということもあり、コミュニケーション能力が優れていました。物件の契約書にサインをしていただく為、オーナー様の自宅に訪問させていただきました。その際、サインだけでなく世間話やプライベートの話をしていました。これは、オーナー様の人柄を知るだけでなく、自分を知ってもらうことで信頼関係を築いているのではないかと考えました。その結果がリフォームの値引き交渉や物件の価格交渉などに繋がり、物件を任せてもらえるようになるのかなと考えました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップでは、エイブルの事業内容と営業職について学びました。営業職には、コミュニケーション能力や交渉力はもちろん、クレームやトラブルに対して、どのように対処、解決していくのかを考える力も必要であると学びました。今後、講義でのグループワーク、ゼミの課外活動でコミュニケーション能力や交渉力、課題解決など、エイブルで学んだことを活かして、主体的になれるよう頑張りたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社エイブル		
実習期間	2023年9月4日(月) から 9月8日(金) まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/4(月) オリエンテーション・ドラマ型会社説明 カメラ研修・マナー研修	9/7(木) 物確・電物・手付け同席 インターネット広告有効期限の更新
9/5(火) 物権撮影・物件清掃・物確 インターネット広告有効期限の更新	9/8(金) 研修課題の発表・グループワーク・プレゼン発表
9/6(水) 車の洗車・街確・駅確・電物 空室資料の取り寄せ	

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

五日間を通して、メモを取る大切さやお客様とのコミュニケーションだけでなく、大家さんとのコミュニケーションの大切さ、第一印象がどれだけ大切なのかということ学びました。社員の方々に営業のスキルやコツ、最後の一押しなどを教わることも出来ました。空室状況を電話で確認する際の言葉遣いが難しく、所々おかしな言葉になってしまったり、名刺交換の際のマナーが上手く出来ていなかったりするなど、まだまだ社会人としてのマナーが身に付いていないと反省しました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

一番感じたことはお客様の要望に応えるために大家さんと礼金や家賃などを交渉する交渉術や、お客様にとって住まいを決める大事な選択であるため、ご要望を聞き出すためのコミュニケーション能力が身に付いていると感じました。実際お客様に物件を紹介する際にどんな希望があるのかを聞き出して、それに当てはまる物件を紹介していき、物件の良い所だけでなくデメリットの部分も紹介し、良い印象で終わらせる工夫も学びました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで相手の立場で物事を考えることが大切であると学びました。普段自分の目線でしか見ない街並みを女性目線で見たり、ファミリー目線で見たりして、自分と違った感覚や価値観を尊重することが大切であると感じました。これから先、価値観の合わない人と出会った際に、様々な考え方があることを念頭に置いて、相手の気持ちを汲みとりながら会話することを心掛けていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社エイブル		
実習期間	2023年9月4日(月) から 9月8日(金) まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/4(月) オリエンテーション・ドラマ型会社説明会 カメラ修・マナー研修・研修課題の説明	9/7(木) 物件の写真撮影へ同行 営業スタッフの現地案内へ同行
9/5(火) 来店客のお出迎え・呈茶・広告発信・POP作成	9/8(金) 研修課題の発表・グループワーク(振り返り) プレゼン発表
9/6(水) 来店客のお出迎え・呈茶 物件の現地確認(街や駅、周辺地域の確認)	

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

私の目標は、不動産業界について知ること、インターンシップでなければ得られない学びを得ることでした。五日間で得られたものは大変多く、仕事内容の詳細や職場の雰囲気、実際に社員の方がどのようにお客様と接しているかなどを知ることができ、インターンシップを通して当初目標としていたことは全て達成することが出来たと感じます。さらに、社員の方々と多くコミュニケーションをとれたので良かったです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

コミュニケーション能力は必須のスキルだと感じました。私は不動産仲介業について、個人プレイで契約たくさんとっていくものをイメージしていましたが、飛び込みで来られたお客様の契約は順番に回したり、外に出ていても逐一電話であらゆることを報告・連絡・相談していたりとチームプレイの色が強いと感じたからです。また、電話対応がきちんと出来ない社会人とはいけないとの話をお聞きしたので、電話対応のスキルも社会人は身に付けていると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで多くのお客様とお会いする機会をいただきコミュニケーションをとるなかで、私は人と関わることが好きだと実感しました。今まで、就職活動の軸や将来したい仕事がなく不安を抱えていたましたが、人と関わることが出来る職業ということを軸や目標として、就職活動を行っていきたいと考えます。また、今回学んだマナーや電話対応やお客様との接し方などは不動産仲介業のみならず、他の業種でも役に立つと思うので忘れずに活かしていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	エコープ生活協同組合		
実習期間	2023年8月15日(火)から8月30日(水)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

8/15(火)	ガイダンス(エコープとは) インターンシップの課題設定 配達同乗体験の事前案内、マナー	8/22(火)	朝礼・積荷チェック・配達同乗体験
8/21(月)	朝礼・配達同乗体験	8/23(水)	朝礼・積荷チェック・配達同乗体験
		8/30(水)	インターンシップのフィードバック キャッチコピー作成、発表・五日間の振り返り

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

どんな時にエコープでのやりがいを感じられるか、様々なお客様や地域のニーズにどのように対応しているのかを知るとい
う目標を達成することが出来ました。それに加えて観察力も付いたため、エコープへの理解が深まり大変実りのある実習に
なりました。その後のグループワークでは反省点も見付き、足りない力をどのようにすれば身に付けられるか等のフィードバック
にも力を入れていただけたので、次の機会には成長したことを実感してもらえるように改善します。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

エコープの方々から身に付けていると感じたスキルは二つあります。一つ目は対話力です。職場の雰囲気や配達同乗体験
で組合員の方と接する際、相手の話に共感し理解しようとする姿勢がよく見られました。そのため、常にお互いを思いやる明
るい雰囲気があります。二つ目は行動力です。定められた目標を達成するために自己スケジュールの管理や組合員の方との
コミュニケーションを密にとり、仲間同士で報告しあう事で物事を円滑に進めていました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

私はサービスや地域社会に貢献することに関心があるため、他の企業と比較し自身が最もやりがいを感じられる企業を探
す際の判断材料として活かしていきたいです。更に社会人として必要な対話力の向上を目指すことで相手を思いやる気持
ちを常態化出来るようにします。そして、インターンシップや就活の際に第一印象を良くすることで、企業に対する熱意や向
上心を理解してもらえるように自身を高めていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	北九州商工会議所		
実習期間	2023年9月20日(水)から9月22日(金)まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

- 9/20(水) 業務説明、広報課での実習
文章の書き方についての説明
エントリーシートの添削指導
- 9/21(木) 産業振興課の事業説明・商店街支援の見学
サービスセンター訪問(若松・八幡)
- 9/22(金) 社員の方との座談会・会社訪問

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

商工会議所の実習を通して、どのような業務が行われているのかを学ぶことを目標に掲げました。そのため実習内では、適度に質問や意見を述べることを心掛け、説明や体験を通して学ぶ事が出来ました。実習では社内外を問わず、サービスセンターや企業の訪問が含まれており、仕事に携わる人との出会いが多い三日間でした。北九州の発展の為に、商工会議所で様々な取り組みがされている事を実感する事が出来ました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

三日間の実習では、社員の方に付いて体験する機会が多く、会議所の取引先やお客様に対してコミュニケーションを図るなかで、言葉遣いやビジネスマナーが身に付いている事に気付きました。企業訪問の際には、事前の連絡から、訪問先を後にするまで、表情や話し方を崩さずに対応していました。幅広い年代層や業種の方とコミュニケーションを取るお仕事であるため、失礼のない、円滑な対応を心掛ける事は、今後必須となるスキルであると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

実習を通して、インフラ業に携わってきたいという気持ちがより一層強くなりました。商工会議所では、会報の作成から、地区ごとに行われる行事の支援まで、地域に関する業務を引き受けていました。営利を追求するより、企業のサポート役に回る立場の職業のため、人や地域に貢献する面で、私が見つ職業像に近いものであると実感することが出来ました。今後就職活動を行う際は、これらの面を主軸として企業研究や自己分析に活かしていきたいと考えています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名称	休暇村 志賀島		
実習期間	2023年 8月 8日(月)から 8月 20日(日) まで	実習日数	10日間

●全日程の具体的実習内容

8/8(火)	レストランタ食業務	8/15(火)	昼食営業,他清掃業務,夕食応援
8/9(水)	朝食業務,レストランタ食業務	8/16(水)	朝食業務,レストランタ食業務
8/11(金)	フロント業務,お風呂チェック 夕食応援,体験プログラム補助	8/17(木)	朝食業務,フロント業務,売店,お風呂チェック
8/12(土)	フロント業務,売店,ロビー清掃 お風呂チェック,夕食応援,体験プログラム補助	8/19(土)	浜売店,プール,フロント業務,夕食応援 売店,体験プログラム補助
8/13(日)	フロント業務,売店,ロビー清掃,あいらん堂	8/20(日)	フロント業務,売店,昼食営業,あいらん堂 まとめ

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

休暇村を志望した理由は、他ホテルとの違いやお客様と向き合う際に心掛けていることを知りたかったからです。スタッフの方は、料理を注ぎにくそうにしているお子様がいたら代わりに給仕したり、お客様の動向に常に気を配る姿を目の当たりにして、どんな時でもお客様に満足いただけるひと時を過ごしてもらいたいという思いで接客をしていることを学びました。知りたかったことをしっかりと吸収することが出来ました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人の方が身に付けていると感じたスキルは、コミュニケーション能力です。私自身、「いらっしゃいませ」のトーンが無意識に上がってしまったり、課題に対して人の力を借りず全て自分で解決しようとしてしまったりと、様々な課題が見つかりました。しかし、自分からお客様とのコミュニケーションをとることはもちろん、チームで仕事をしているため、これからは全てを自分で解決しようとするのではなく、積極的に聞いて解決していこうという意思が生まれました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今後、宿泊業をメインに就職活動をするのであれば、今回のインターンシップで培った経験や得たもの、学んだことを積極的にアピールしていきたいです。また、どうすればお客様が快適にくつろぐことが出来るのか、接客するなかで何が重要なのかを考え、自分なりの考えを今一度整理したいです。就職活動が本格的に始まる前に、実習で学んだことを整理し、就職活動本番に挑もうと思います。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	九州東邦株式会社		
実習期間	2023年9月11日(月)から9月15日(金)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

- 9/11(月)会社説明・現場同行
- 9/12(火)現場同行
- 9/13(水)現場同行
- 9/14(木)現場同行
- 9/15(金)物流センターの説明・見学

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

今回の実習を通しての成果は安定性を学習出来た事です。現在の社会では薬品は医療にとって欠かせない物となりました。必要な時にその薬がないと命を落としてしまうかもしれません。それを社員の皆さんは理解されており、緊急の配達にも迅速に対応されていました。安定供給を実現することは容易ではないですが、それを支えていることに敬服しました。目標の医薬品卸売業の仕事内容を知ることは、現場同行する機会が多かったので十分に達成出来ました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

実習で感じた社会人が身に付けているスキルは、新しい情報を収集していることです。九州東邦では、月曜日以外の朝は薬品メーカーから新薬や薦めたい薬品の説明をする勉強会があります。これは社会人がニュースや新聞で情報を手に入れるのと同じように思えますが、実際は専門性が高くてかなり難しい内容でした。この情報は先方に訪問したときの会話で実際に使われていて、良く活かされていると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

私が今回の実習で学んだ事柄で今後活かしたいと思ったことは、準備力です。先ほど述べたメーカーからの勉強会もそうですが、朝礼で今後取り寄せがあると考えられる薬品の確認が念入りに行われていました。私が同行させていただいた時はインフルエンザが流行ってくる時期と予想されており、ワクチンの発注の商談を病院に持ち掛けていました。このように準備を早く行って同業他社と差をつけるのは流石だと思い、私も今後の就職活動に活かしたいと感じました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	九州東邦株式会社		
実習期間	2023年9月11日(月) から9月15日(金) まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

- 9/11(月) 業界と会社概要説明・営業同行
物流と管理説明
- 9/12(火) 朝礼・勉強会・営業同行
- 9/13(水) 朝礼・勉強会・営業同行
- 9/14(木) 朝礼・勉強会・営業同行
- 9/15(金) TBC九州見学

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

思っていた営業の仕事とはかなり異なっており配送色が強かったため、一口に営業といっても業界や企業によって行う事がかなり違うということを学びました。また、医薬品業界ならではの毎朝の新薬の勉強会に参加させていただきましたが、知らないことが多くあまり話についていけなかったところが反省点です。しかし、営業の移動時間等で質問を行った際知識が豊富で説明がしやすいと言って頂けたので、これからも評価していただけるよう努力したいです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

印象を良くするための笑顔・挨拶がとても重要であることに気付きました。正確で迅速な情報伝達はもとより、従業員同士が「報告・連絡・相談」を大切にしながら、コミュニケーションを密にとっていることが印象的でした。また、情報共有を図ることでお客様に対するサービスの質を向上させるなど、常にお客様目線で物事をとらえていることに気付きました。私もこれらのことを今後活かしながら、社会人として役立つ人材になろうと考えます。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

「顧客は正直どの薬品卸でも良いと思っているので、印象が特に重要だ」と聞いて驚きました。私は普段自分の印象をあまり考えずに行動しているので、これからはもう少し気を付けたいと考えました。営業の際、医薬品だけでなく情報の収集・交換をとても重視していましたが、私は情報収集が苦手であり行っていなかったため、情報収集を意識的に行うようにしようと思いました。質問をすることはあまり得意ではなかったのですが、自然に行えるようになったのでこれからも心掛けたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社九州パール紙工		
実習期間	2023年8月31日(火)から9月8日(金)まで	実習日数	11日間

●全日程の具体的実習内容

8/31(金) マネージャーとの同行(商談) オンライン会議見学	9/6(水) 配送担当との同行(ピッキング・配送)
9/1(土) 所長との同行(納品、商品提案)	9/7(木) 営業主任との同行(納品)
9/4(月) ルート営業(納品)	9/8(金) 事務作業、所長との同行
9/5(火) 事務作業(伝票記入・発注書記入) 所長との同行(納品・商品提案)	

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

実習で営業同行を行い、メーカーの商談見学やルート営業、配送、事務の経験をすることが出来ました。ルート営業や本格的な営業について知り、経験できたことは、大きな収穫になったと感じています。そのなかで、実際に名刺交換も体験することができ、挨拶や積極的な質問も出来たため、実習の成果としてはかなり良かったと考えます。反省点としては、全員と話せるようになったのが最後の数日だった為、もっと話せる事があったのではないかと感じました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

電話の出方、挨拶の仕方がアルバイトとは違うなと感じました。特に挨拶に関しては、ただ挨拶をするだけでなく、社会人として相手に好印象を与えられるような挨拶を今後、身に付けるべきだと考えました。また、納品の中で教えていただいた内容やルールは、お客様への細かな配慮がなされており、そのような気配りを当たり前出来るところが社会人として身に付けられていると感じたスキルでした。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

朝礼の際にマネージャーから当たり前のことを当たり前にする、物事の順番、重要度を考えることが大切と教えていただき、今後活かしていくべきポイントだと感じました。そして、今後授業の課題や就職活動に取り組むうえで、物事を進めていく際の効率化がとても必要であると考えます。「当たり前のことを当たり前」は、就職活動で面接やエントリーシート作成の際に活かせると考えており、そのためには普段の授業課題などを当たり前にする必要だと考えます。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社九州マツダ		
実習期間	2023年9月11日(月)から9月17日(日)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/11(月)九州マツダ曾根店にて見学・研修
9/14(木)九州マツダ則松店にてお出迎え・バック誘導
9/15(金)九州マツダ則松店にてお出迎え・バック誘導
9/16(土)九州マツダ則松店にてケータリング
9/17(日)九州マツダ則松店にてケータリング
小倉店見学・曾根店での振り返り

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

九州マツダのインターンシップを通しての成果は、積極的に行動したことです。店舗の見学中や、実際に活動している時間など、少しでも疑問に思ったことや、知りたいと思ったことについて積極的に質問を行いました。また、バック誘導は進んで行い、ケータリングについても周りをしっかりと見て後片付けや、前もって準備をしておくことが出来ました。今回のインターンシップを通して新たな知識を身に付けることが出来たと同時に、積極性の重要性を再認識しました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

九州マツダの方が身に付けていると感じたスキルは、商談の際などのコミュニケーション能力やトークスキルです。実際に車の購入を検討されているお客様に対して、趣味や家族構成、休みの日の過ごし方など、一見すると車に関係がないように見える会話から、普段の用途や燃費などの車に関係する会話に自然につなげ、お客様に合った車種やグレードなどをご提案されていました。このことからトークスキル等が営業マンのスキルに直結していると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

インターンシップで学んだことは、積極的に行動することの大切さと、トークスキルやコミュニケーション能力の重要性です。積極的な行動は、これから先社会人として様々なスキルを培い、知識を吸収する上で必要不可欠であり、常に心掛けなければならないものだと思います。また、トークスキルやコミュニケーション能力は社会人になるうえではもちろん、今後の大学生活での集団活動において必要なものなので、今回の活動で学んだことをこれからの糧と出来るように頑張りたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社ギラヴァンツ北九州		
実習期間	2023年8月23日(水)から8月26日(土)まで	実習日数	4日間

●全日程の具体的実習内容

- 8/23(水)オリエンテーション・施設見学
- 8/24(木)社内会議参加・管理本部講義・南倉庫整理
- 8/25(金)ホームゲーム準備作業・ミーティング
- 8/26(土)会場設営・運営・撤収

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

サッカーを一試合を行うために、たくさんの人が密接に関わらなければならないことが改めてよく分かりました。自分に向いている仕事を探すことを目的としてこのインターンシップに参加しましたが、結果として好きなことを仕事にすることは向かないと感じました。良かったと感じた点は、スタジアムでお客様に座席を聞かれた際に、丁寧な口調で正確に場所を伝えられたことです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルは、仕事とプライベートの切り替えです。仕事中には敬語を使い、休憩時間にはフランクに会話を行う、一つの仕事が終わったらすぐに次の仕事に移行するなど、切り替えのスキルを身に付けていると感じました。また、相手に合わせて分かりやすく物事を伝えるスキルも身に付けていると感じました。自分自身まだまだこれらのスキルどころか社会人の基礎スキルも身に付いていないと感じたので、これからしっかりと身に付けます。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで学んだことは、サッカーの試合のような大きなイベントを開催するためには、選手や観客だけでなく会場を設営する人やイベントを考える人、運営を行う人などのたくさんの人が成功に向けて協力し合っていること、縁の下の力持ちの重要性を学びました。学んだことを活かすために、自分自身も何かイベントなどを手伝う際には周囲の人と協力することで活かしたいです。そのためには円滑なコミュニケーション能力が必要なので身に付けていきます。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社ギラヴァンツ北九州		
実習期間	2023年8月23日(水)から8月26日(土)まで	実習日数	4日間

●全日程の具体的実習内容

8/23(水)	オリエンテーション・会社概要説明 施設見学(ミクニスタジアム・Gパーク)	8/25(金)	ホームゲーム準備作業・MTG
8/24(木)	社内会議参加・管理本部講義 ミクニスタジアム南倉庫整理	8/26(土)	ホームゲーム設営・運営・撤収

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

実習最終日が公式戦で実際に設営から関わらせていただいたのですが、お客様から周囲のスタッフさんが聞かれていることや、自分が尋ねられたことから覚え、次の対応に繋げることが出来ました。サポーターの方々がよく利用するのは何なのか観察するなかで予想して、必要な案内を用意出来たと感じています。反省としては、撤収の段階でその場であたふたして出来ることを見つけるのに時間がかかってしまったことです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

臨機応変に対応する力だと感じました。公式戦当日の事前準備から試合中、撤収まで分刻みで動かされていました。予定通りに進むのがベストではありますが、大小関係なく様々なことが起こります。体調不良者の対応や当初考えていたより人員が増減する場所があれば調整をしたりと、とてもスムーズに対応されていました。ある程度の想定や、経験値もあるとは思いますが、臨機応変さは社会人が持っているスキルの一つなのではないかと感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

皆さん仕事にきちんと対応しながら、試合も楽しんでいる姿を見て本当にサッカーが好きなんだなと感じました。お話をするなかで「希望の職に就けなくてもその業界の中にいれば欲しい情報が流れてくる」「意外と業界内で行き来する人が多い」ことを知りました。なかなか業界という大きな範囲で考えてこなかったのも、そのような捉え方も取り入れてみようと考えています。捉え方を固定せず、広い視野で捉えると横の繋がりがうまれることを学びました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	計測検査株式会社		
実習期間	2023年9月20日(水)から9月22日(金)まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

- 9/20(水) オリエンテーション・社内案内・安全教育
見積作成
- 9/21(木) 営業ロールプレイング・営業チラシ作成
顧客情報収集
- 9/22(金) 社長のお話・グループプレゼンテーション
振り返り

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

計測検査がどんな仕事をしているか、どのような技術があるのかを理解することが出来ました。私は営業部のインターンシップに参加しました。その際に様々な営業トークの手法を学びました。そのなかでも SPIN 法という手法に興味を持ちました。SPIN 法は状況、問題、示唆、解決の四つの質問を行うだけで商品が売れるという魔法のような手法でした。反省点としては、当日になるまで営業部に配属されることを知らなかったことです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルは、営業相手によって営業の方法を変える臨機応変さと、そのために営業に関する知識や方法を常に学ぼうとする姿勢です。具体例としては、お客様にもいろいろな人がいて、なかには営業の話ではなく日常的な相談をするために呼ぶお客様もいるそうです。その際に嫌な顔ひとつせずお客様の話をしっかりと聞き、解決策を提案するという、営業には一見関係ないことに見えますが、その行動で信頼関係が築けていると学びました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

私が今回のインターンシップで学んだ事は、たくさんの営業トークの手法です。その際に自分に合った営業トークの手法を知り、身に付けることが大切だと学びました。私は、接客業のアルバイトをしています。そのため、アルバイトの際、学んだ営業トークの手法を活かして自分に合った営業トークを身に付けたいと考えました。また、グループプレゼンテーションの際に進行役の大切さを知ったので、グループワークなどの際には積極的に挑戦してみたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名称	子ども発達支援センターいっぽ		
実習期間	2023年9月4日(月)から9月15日(金)まで	実習日数	10日間

●全日程の具体的実習内容

9/4(月) 担当クラスのサポート(もも組,すてっぷ教室)	9/11(月) 担当クラスのサポート(りんご組,ほっぷ教室)
9/5(火) 担当クラスのサポート(もも組,すてっぷ教室)	9/12(火) 担当クラスのサポート(もも組,ほっぷ教室)
9/6(水) 担当クラスのサポート(もも組,すてっぷ教室)	9/13(水) 担当クラスのサポート(ぶどう組,ほっぷ教室)
9/7(木) 担当クラスのサポート(もも組,すてっぷ教室)	9/14(木) 担当クラスのサポート(りんご組,ほっぷ教室)
9/8(金) 担当クラスのサポート(りんご組,ほっぷ教室)	9/15(金) 担当クラスのサポート(りんご組,ほっぷ教室)

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

子ども達の行動によって臨機応変に対応する柔軟力や、教室全体を見る観察力と視野が身に付きました。また、多様性を認め合う柔軟な考え方も更に向上することが出来たと考えます。反省点としては、子ども達が言い合いをしている時に少し手を出してしまっていることに気付くのが遅れてしまったことです。意識していても、集中していくうちに視野が狭まってしまっていることを痛感しました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

切り替える力と考える力だと感じました。子どもの持つ個性はそれぞれ異なっており、どう接するのが良いか考える必要があります。例えば、こちらから話しかけすぎると壁をつくってしまい、全てに拒否反応を示す子や、遊んでいたおもちゃを勝手に触られたとき、抑制が効かず手を出してしまったりする子など、一人ひとり「こうした方が良いのでは」という対応が異なるためこのような力が身に付いていると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

私が子供福祉の施設に就きたいと思い就職活動をする事になった際は、自らの体験や私なりの子ども達との接し方を伝えていきたいと考えています。そして、今後ボランティア活動など身近なもので子ども達と触れ合う機会があれば、実習を通して得たものを最大限活用していこうと思います。更には知り合いなどで子供に関係する仕事に就きたいと考えている人がいれば、この体験を聞かせてあげようと思っています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	子ども発達支援センターいっぽ		
実習期間	2023年8月28日(月)から9月8日(金)まで	実習日数	10日間

●全日程の具体的実習内容

8/28(月) 担当クラスの先生方の補助(幼児クラス)	9/4(月) 担当クラスの先生方の補助(年長クラス)
8/29(火) 担当クラスの先生方の補助(支援クラス)	9/5(火) 担当クラスの先生方の補助(幼児クラス)
8/30(水) 担当クラスの先生方の補助(幼児クラス)	9/6(水) 訪問支援先同行(芦屋)
8/31(木) 担当クラスの先生方の補助(幼児クラス)	9/7(木) 担当クラスの先生方の補助(年長クラス)
9/1(金) 訪問支援先同行(遠賀・岡垣)	9/8(金) 担当クラスの先生方の補助(幼児クラス)

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

コミュニケーションを取り、業界の魅力を知ることが目標に取り組みました。初日は、子ども達との接し方が分からず戸惑ってしまう場面も多くありましたが、実習が終わる頃にはほとんどの子と話ができて、福祉業界に向いていると施設長から評価していただきました。また、話を聞くとこのような施設は、子どもや親にとって心の拠り所にもなっており、必要不可欠なものであると分かりました。福祉業界の居場所を作り、支援をすることが出来る部分に強く魅力を感じる事が出来ました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

伝え方の工夫が出来る部分や広い視野を持っていると感じました。まず、伝え方では支援が必要な子や幼児にはイラストを使用し意思疎通を図るなど、今の私では思いつかない工夫や対応をして、子ども達の成長をサポートしていました。次に広い視野を感じた点は、私が気付かなかった子ども達の行動も確実に把握しており、常に周囲の状況に気を配っていたところです。私も持っていると思っていたスキルでも、社会人のレベルにはまだ追いつけていないと痛感しました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

児童福祉に法律が深く関係していることを学びました。インターンシップに参加するまで、児童福祉に興味はあるものの、大学で勉強してきた法律は、この業界で特に活かさないのではないかと考えていました。しかし、成年後見制度などが関係することがあり、実習先の先生は司法試験の勉強をしていると聞きました。今まで就職先の選択肢に児童福祉業界は考えがなかったため、この業界を目指すことも視野に入れ、これからの就活で目指す業界を定めることに活かしたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社サンリブ		
実習期間	2023年9月11日(月)から9月12日(火)まで	実習日数	2日間

●全日程の具体的実習内容

- 9/11(月) オリエンテーション・スケジュールの説明
店舗内の説明
- 9/12(火) 商品の整理・朝礼・グロサリー雑貨前出し
デイリー値下げ商品のシール貼り

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

インターンシップを通して、日常生活と関わりが多いスーパーマーケットの表側と裏側の両方を知ることが出来ました。いつもお客様の立場として店員の方々と接していたため、逆の立場になった時にプレッシャーを感じました。社員の方々がお客様のことを第一に考え対応しているからこそ、多くの人から長く愛されているということが分かりました。プレッシャーに押しつぶされず充実したインターンシップにするという目標を達成出来て良かったです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

自分自身のやるべきことを考え抜く力と、役割を分担して課題を達成する力を身に付けていると感じました。お客様のことを考え、不快にならないような対応をしつつ、私はお客様が手に取りやすいよう飲料水や食品の前出しをし、他の従業員はレジの対応や商品の受け渡しをするといったように、一人ひとりが自分のやるべきことを考える場面が多々ありました。そして二日間最後まで自分の強みを発揮して積極的に仕事に取り組めたことで、充実したインターンシップになりました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

インターンシップを通して、社会人のマナーと相手の気持ちを考えることの大切さを学びました。仕事は作業のスピードと状況に応じた対応力、そしてチームの団結力が大切です。これらを高めるためには、相手のことを考えて動く必要があります。今後私は、即戦力として活躍できる人材になるために、インターンシップで学んだことを忘れず学校生活や普段の生活を見つめ直し、自分の弱みを克服しつつ気を抜かずに過ごしていきます。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社サンリブ		
実習期間	2023年9月11日(月)から9月15日(金)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/11(月) オリエンテーション 店舗案内食品売り場整理・品出し	9/14(木) 全体朝礼参加・品出し・衣料品整理 展示準備
9/12(火) 全体朝礼参加・品出し・陳列	
9/13(水) スタッフ朝礼参加・品出し・陳列・前出し 補充作業	9/15(金) 実習振り返り・質疑応答

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

目標であった「最低五人の社員の方に話を伺う」ことは達成出来ませんでした。それ以上に学べる事が多くあったと感じています。小売業の仕事は想像していたような品出しや陳列だけでなく、他企業との打ち合わせやネットスーパーやデリバリー等、幅広く様々な業務を行っており、より具体的な仕事内容を知ることが出来ました。また、品出し一つでも流行りや季節の変わり目を意識したり、ディスプレイ一つが利益を左右したりと小売業という仕事の奥深さを知ることが出来ました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルは、良好な人間関係を築くことです。実習中も社員の方だけでなく各店舗のパートの方々全体を通して、職場の雰囲気良く、すれ違いざまに情報共有をしたり、立場関係なく互いに要望を言い合ったりしていました。このように互いに良好な関係を築いておくことで、報連相も徹底され仕事がよりスムーズに進み、業務に関して協力し合えることから、社会人となり様々な人と働くうえでは良い人間関係を築く能力も大切だと感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップでは、その場の雰囲気がどれほど人や仕事に影響を与えるのかを学びました。実習全体を通して常感じていたことは、全体が明るく本当に雰囲気の良い職場であり、働いている方々も楽しそうに仕事をしていることでした。このように場の雰囲気の良さを意識することで、今後あるグループでの活動等他の人と共同の作業を行う際に、互いに気持ち良く、かつ楽しく活動ができ、気兼ねなく頼り合えるため今後はよりいっそう意識していきたいと考えています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名称	株式会社ジェイコム九州 北九州局		
実習期間	2023年8月17日(木)から8月20日(日)まで	実習日数	4日間

●全日程の具体的実習内容

- 8/17(木) 社内見学・社外イベント見学
- 8/18(金) メディア部署 番組制作体験
- 8/19(土) 先輩社員や部長とのディスカッション
- 8/20(日) 社外イベントのサポート

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

インターンシップの目標は、社会人としてのビジョンの解像度を高めることでした。朝礼に参加させていただいたのですが、とても雰囲気良く感じられ、楽しそうに働かれている姿が見受けられました。利益ばかりを追求し、数字ばかりに囚われるのではなく、事業報告の前にはアイスブレイクも踏まえ、働きやすい関係性を築き上げているところに非常に魅力を感じました。上下だけでなく左右でも風通しの良い社風に、私もこのような会社で働きたいと思いました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

三日目には先輩社員やマネージャー、部長とインターンシップ生が対談する貴重な機会をいただきました。その際に感じたことは、全ての方のコミュニケーション能力が高いことです。自己紹介は面白く且つ簡潔で、短い質問に対しても内容の濃い回答をしていただきました。このように頭の中ですぐに論理的に思考する力や伝えたいことを簡潔に具現化する力は、お客様相手でも社内でも必要だと考えるため、学生のうちに身に付けておきたいと感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップに参加して、五年後、十年後、自分がどうなりたいかという目標を明確に決めておくことが重要であることを知りました。達成出来なくてもそのプロセスが必ずスキルアップに繋がるため、目標達成に向けて何をしなければならないのか考え、地道な努力をしていくことが社会人では基礎力として養っておかなければならないと感じました。そのため、卒業までの目標として、就職活動に限らずイベントやコミュニティに積極的に参加し、視野を広げたいと考えました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社しろみず		
実習期間	2023年9月11日(月)から9月15日(金)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/11(月) 事業説明・工場紹介 球形タンクの設計体験	9/13(水) 製造部での実習・工場内の設備紹介
9/12(火) 設計部での実習・2D・3DCADの説明 球形胴板組立図の作図	9/14(木) 品質管理部での実習・測定器具の実演 9/15(金) 五日目のまとめ(発表会)

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

「疑問に感じた点は積極的に質問をする」という目標については、達成の度合いが不十分であったと感じています。実際に業務の体験をするなかで分からないと感じた点は、社員の方へすぐにお声がけすることが出来ました。しかし、業務に関する質問をする際は、思い浮かばずにその場をやり過ごしてしまう場面がありました。準備不足かつ、目標達成に及ばなかった面は、反省する点です。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

五日間それぞれ異なる部署についたため、毎日違う社員の方の下で実習を受けていました。社員の方と接していくなかで、一つ共通するスキルを見出せました。それは、コミュニケーション力です。タンクを扱う専門的な企業であるがゆえに、専門用語や技法が度々出てきました。そのなかで、説明に回る社員の方は、例えやイメージを挙げて分かりやすく説明していました。一つの説明で物事を明確に伝える力が備わっていると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップでは、インフラ業について理解を深めることが出来ました。私の抱いていたインフラ業のイメージは、「縁の下の力持ち」でしたが、実際に業務を体験すると、タンクの製造から輸送の過程に、それぞれ業者の方々に関わりつつ、陰で支える職業であると認識することが出来ました。仕事上のイメージを学べたため、希望と合致する職種をさらに深く絞り込んでいきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社しろみず		
実習期間	2023年9月11日(月) から 9月15日(金)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

- 9/11(月) オリエンテーション
- 9/12(火) 作図体験
- 9/13(水) 工事部の説明
- 9/14(木) 品質管理部の説明
- 9/15(金) 五日間のまとめの発表

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

三社の中で最後ということもあり、実習を通しての自己評価は最初に比べて上がりました。担当の方にも「良い質問をする」や「コミュニケーション能力がある」などこれまでの自分からは考えられない評価をしていただき、インターンシップ全体を通して成長出来たと感じます。しかし、気になる事を質問しすぎて他の人が質問したいのに時間がおしてしまう場面があったので、そこは反省する点だと考えました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたことは、責任感です。担当していただいた方々を見ていると工場を見学する時に、工場の動向を確認し学生の安全を確認しながら動かれており、作図体験の際、難しく理解に時間がかかる作業の場合でも、最後まで嫌な顔をせず教えていただきました。社員の皆さんが自分の与えられた仕事に誠意をもって取り組んでいる姿を見て、社会人は自分の仕事に責任を持ち、何があっても最後までやり遂げられていると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

五日間を通して最も大切だと感じたことは、自分の与えられた仕事に誇りを持ち全力で取り組むことです。様々な部署の方に資料を準備していただいたり、丁寧に業務内容等を説明していただきました。何もわからない私たちが理解出来るまで説明出来るのは、日頃から自分の仕事に誇りを持っていないと出来ないと思います。このインターンシップで学んだことを活かし、今やっていることに誇りを持ち全力で取り組みたいと思いました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社スタジオアリス ニトリ小倉北店		
実習期間	2023年8月21日(月)から8月25日(金)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

8/21(月) オリエンテーション・マニュアルの勉強 お客様の案内の練習・商品の紹介	8/24(木) 撮影の練習・衣装チェック・子供の対応 撮影見学
8/22(火) お客様の案内の実践・現場見学	8/25(金) 衣装チェック・子供の対応 撮影アシスタント・撮影見学
8/23(水) 着付けの研修・衣装案内の復習 商品の紹介の研修	

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

インターンシップを通してお客様と関わることで、お客様対応のやり方と社会の厳しさを知ることが出来ました。そして、スタジオアリスでの撮影風景や幸せそうな家族を見て、幼い頃七五三で撮影していただいたことを思い出しました。お祝い事で利用されるお客様が多く、大切な瞬間にお店を選んでいただけたことに感謝と感動を覚えたうえで社会人としてのマナーを学べ、充実したインターンシップになり、目標を達成出来たと考えます。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

今回のインターンシップを通して、お客様のことを考えながら不快にならないような対応をしつつ、お客様の商品のチェック、受付や商品の受け渡しをするといったように、自分自身のやるべきことを考え抜く力と役割を分担して課題を達成するチーム力を身に付けていると感じました。そして五日間を通して、最後まで自分を出し切り仕事に取り組む継続力と、社会のルールを理解し、課題を達成する力を身に付けていると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで、社会人のマナーとチームの団結力の大切さを学びました。仕事は丁寧に正確に行うことが大切であると思っていましたが、それだけでなく作業のスピードと状況に応じた対応力が大切であることが分かりました。今後は、チームワークの大切さを忘れずに取り組みます。そして社会に出た際には、インターンシップで学んだことを忘れずに仕事に取り組み、即戦力になれるよう、学校生活や普段の生活の中でも気を抜かず頑張ります。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社スタジオアリス イオンモール八幡東店		
実習期間	2023年8月21日(月)から8月25日(金)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

8/21(月) オリエンテーション・撮影見学・衣装確認	8/24(木) 撮影アシスタント・衣装準備
8/22(火) 撮影見学・セレクト見学・衣装整理 翌日の準備	スタジオ片付け・小物準備・マニュアル勉強
8/23(水) 納品チェック・衣装の整理整頓	8/25(金) 撮影アシスタント・着付け フリフォテ展示会の設営準備

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

仕事は一人で完結するものではなく、チームワークが必ず求められると感じました。実習が始まってすぐ右も左も分からず、言葉を噛んだり準備する小道具などを間違ったりと、時間を無駄にしまいました。このことから仕事において質も確かに大事ですが、それに加えてスピードも大事なのだとことに気付くことが出来ました。普段、お子様と触れ合う機会はありませんので、非常に有意義な時間を過ごせました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

今回の実習で社会人が身に付けていると感じたスキルは、臨機応変に対応する力です。掃除や衣装の整理整頓を行いながらお客様が必要とされている衣装を準備し、スタッフの方に届け、お客様が来店された際には受付に立ち対応しました。これらの経験を通して、社会ではマニュアル通りに動くだけでは不十分であり、状況に応じて自分自身で考え、お客様を不快にさせないように行動することが大切だと学びました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

インターンシップを通して、仕事に慣れることとチームワークの大切さを学び、今後より一層、人間関係を大切にしていこうと考えました。また、私自身、普段一つの作業にかなり時間がかかってしまうため、これからは質も大切にしながらスピードも重視していこうと考えています。また、撮影アシスタントを通して人の笑顔の引き出し方も臍気ながら浮かんできました。今後、人と関わるうえで、笑顔を忘れずに相手に不快な思いをさせないように接していきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	能美学園 星琳高等学校		
実習期間	2023年8月24日(木)から8月26日(金)まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

- 8/24(木) パンフレットのアイデア
 オープンスクール配布資料の作成
- 8/25(金) 宛名描きシールを封筒に貼る
 職場体験見学・臨時時間割表作成
- 8/26(土) オープンスクール実施・領収書の整理

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

星琳高等学校のパンフレットに関するアイデアをだしたり、時間割表の作成や領収書の整理といった事務作業を事務の方と協力して行いました。パンフレットに関しては、星琳高等学校をより魅力的に感じてもらうにはと考えると難しかったのですが、アイデアを出したときに校長先生からお褒めの言葉をいただき、星琳高等学校の一員として少しでも力になれたと思うと、とてもやりがいを感じました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

コミュニケーション能力と指導力だと感じました。インターンシップ生に対しても常にコミュニケーションをとってくださり、働きやすい環境でした。また、高校生の職場体験の見学に同行し、企業の方との話し合いを行ったのですが、そこでも勉強になることが多くありました。毎日終礼で校長先生との話し合いがあり、そこで一日のフィードバックをしていただけたため、その日の課題を次の日に修正出来たのが良かったです。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

普段生徒側からだと見えない事務職という裏方を体験してみて、自分が想像しているより多くの作業があり、その範囲も多岐に亘っていることを知りました。社会人になった際、一つのことだけでなく色々な業務をこなせるよう、卒業までゼミ活動やイベント、グループワークなどで今回学んだことを活かし、社会で通用する力を身に付けていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	能美学園 星琳高等学校		
実習期間	2023年8月24日(木) から 8月26日(土) まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

- 8/24(木) 学校パンフレットアイデア出し
オープンスクール配布資料まとめ
- 8/25(金) 封筒宛名貼り付け・職場体験先訪問同行
臨時時間割確認作業
- 8/26(土) オープンスクール補助・領収書整理

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

先生方と比較した際、自分自身の言葉遣いや臨機応変に対応する力が未熟であると感じました。これからは特に注意深く自身の発言や行動に意識を向けていこうと考えます。また、最終日にはオープンスクールの受付を担当しましたが、出欠の確認漏れがないかなど、注意しながら案内が出来たため、この正確性はこれからも伸ばしていきます。また、次回のオープンスクールをより良くするための企画案を採用してもらうことができ、自分なりに力添えが出来たと感じています。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

実習を通して、臨機応変に物事を処理する柔軟性を身に付けていると感じました。オープンスクール当日では、運営だけでなく、来校者の対応も同時にこなさないといけない状況でした。私は、特にイレギュラーなことに対する苦手意識があり、今回も受付を担当するうえで焦ってしまう場面がありました。しかし、一緒に受付をくださった先生方はスムーズに対応しており言葉遣いや案内も丁寧でした。このことからどんな場面でも臨機応変かつ柔軟に対応するスキルがあると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

私立の学校事務は求人が少なく、狭き門であることが多いと校長先生から教えていただきました。性格や学歴など、他者と比較した際に評価が同じくらいだった場合、持っているスキルに注目すると知り、PCスキルや資格などを持っておくべきだと学びました。私はまだ、誰かに誇れるようなスキルや魅力も不透明であるため、今回学んだことを自分で高め、就職活動を有利に進めるために常に意識し、自身の強みを確立していきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名称	第一生命保険株式会社		
実習期間	2023年8月29日(火) から 8月30日(木) まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

- 8/29(火) ライフシミュレーションゲーム・座談会
- 8/30(水) キャリアカレッジ見学・セミナー準備
- 8/31(木) 職域訪問・セミナー体験

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

実際に取引先への訪問に同行させていただいたのですが、初対面で好印象かつ場を盛り上げて話をするということに非常に緊張し、難しく感じました。真っさらな関係から信頼関係を構築していくのは一度で出来ることではなく、何年もかけて何度もご挨拶に伺うことによって作り上げられていくのだと実感しました。やはりその際には、ビジネスマナーを習得していることは基本だったのですが、あたふたしてしまい上手く出来なかったので経験を積んで習得したいです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

今回のインターンシップでは、社会人になるために今自分が何をしなければならぬのか知ることが出来ました。まず、対人コミュニケーション力をつけることです。顧客や取引先に関わらず、社内でもコミュニケーションを取ることは必須であり、仕事をする上で基本となる力であることを知りました。次に継続力です。入社後もキャリアアップの為に試験が多く、社会人になってからも勉強を続けることが必要だと知り、継続して学習する力を身に付けたいと思いました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

先輩社員との座談会の中で、ある方から「就活の軸はキャリアアップ出来るところ」というお話を聞きました。私の就活の軸は漠然としていて、就職活動中のことしか考えていなかったのですが、キャリアアップという実際に入社後のことをイメージされていたことにとっても学びを得ました。就職活動は内定がゴールではなく入社してから自分がどうなりたいかを想像出来ることがゴールだということに気付かされました。今後は目標を決め、見通しを立てて行動していきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	大英産業株式会社		
実習期間	2023年9月7日(木)から9月12日(火)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/7(木) 会社説明会	9/9(土) 商品企画
9/7(木) 用地仕入体験	9/11(月) 街づくり作成
9/8(金) 営業の仕事体験	9/11(月) 座談会
9/8(金) モデル物件見学	9/12(火) 街づくりプレゼン発表

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

実習を通して、不動産業界の開発、建設、仲介、管理の四つを学ぶことができました。大英産業はそのなかでも開発に力を入れており、様々な事業に取り組んでいることを知りました。インターンでは、主に土地の仕入れ、営業、商品企画、街づくりといった事業に取り組み、毎日最後にグループワークとプレゼン発表を行いました。プレゼン発表では、最後にフィードバックをしていただけるので、改善点や良い点に分かるだけでなく、仕事の理解度が上がったと感じました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

不動産業界は、人生において大きな買い物である家を購入していただくため、トーク力が身に付いていると感じました。営業の仕事体験で上手いかず社員の方に様々なアドバイスをいただくなかで、お客様の人生の節目に寄り添うことや信頼してもらうことが大事だという話をお聞きました。お客様との会話のなかで信頼関係を築き、信用してもらうことで契約に繋がる、その流れを営業部の方のロールプレイングで実際に拝見することができ、とても勉強になりました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップを通して、大切なことを三つ学びました。それは、コミュニケーション力、報連相、主体性です。この三つを常に心掛け実際に習慣化していくことで大人の習慣が身に付き、仕事や人生観を醸成すると仰っていたため、社会人になる準備として学んだことを活かしていきながら、立ち居振る舞いを磨き、普段からその行動が出来るようにしていきます。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名称	大英産業株式会社		
実習期間	2023年9月7日(木) から 9月12日(火) まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

- 9/7(木) オリエンテーション・用地仕入れ体験
- 9/8(金) 営業所訪問・営業体験
- 9/9(土) 商品開発体験
- 9/11(月)街づくり体験(グループワーク)
- 9/12(火)街づくり体験 発表

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

今回のインターンシップでは、総勢二十名ほどのインターンシップ生とグループワークを行いました。そのなかで初対面の相手とのチームビルディングの方法を学びました。また、一日の実習時間が短かったため、いかに有意義な時間を作れるかを常に考えながら行動することが出来ました。目標は、他の大学の方に引けを取らないようにグループを引っ張っていくことだったのですが、達成出来たと感じています。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

大英産業では、始まりや終わりの号令の後に必ず拍手をするという他の企業では見られなかった光景がありました。これは上司・部下関係なく何事も盛り上げていくという意味があるそうで、とても良い雰囲気作りだと思いました。独自で働きやすい環境や習慣づくりをすることは、簡単なようで意識していないと有耶無耶になりがちなことだと思うので改めて気付くきっかけになりました。社内の雰囲気が穏やかだったのは一人ひとりの気遣いのおかげなのだと感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

不動産会社といっても様々な種類がありますが、大英産業は仕入れから商品開発、販売まで総合的に行う不動産開発会社であることが分かりました。営業の仕事だけではなく、実際に商品開発を体験させていただき、改めてゼロから一を作り出すことの楽しさを知りました。そこから私は自分自身がワクワクするようなことを仕事にしたいと思いました。今後はそのことを基盤とし、自分に何が出来るのか考えて企業研究を行っていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	田川市役所		
実習期間	2023年8月28日(月) から9月1日(金) まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

8/28(月) 移住・定住の施策の説明 建替4団地継続移住者の対応説明・見学	8/31(木) 星美台浄化槽改装工事見学 国土調査境界立会 ストック改修工事箇所見学
8/29(火) 浄化槽、入居前内覧、受水槽、 空家鍵交換、空家修繕中の見学	9/1(金) 設計補助・迷惑空家・特定空家等現地調査 空家対策の補助業務
8/30(水) 団地建替事業説明 東西中学校造成工場見学	

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

インターンシップでの目標は、市役所の一員として自覚を持ちながら行動し、メモをとる習慣をつけ、人と関わる際の言葉遣いに気を付けることでした。緊張で言葉遣いがおかしくなってしまうことが多々あったので、今後の課題として取り組みます。市区町村で抱えている問題はそれぞれ異なるが、少しでも市民が住みやすいように様々な取り組みを行う姿勢は全国共通であることに気付きました。職場の雰囲気はとても暖かい環境でした。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

市民と関わる際の言葉遣いやコミュニケーション能力を肌で感じる事が出来ました。耳が遠くなっている高齢者の方にはゆっくり大きな声で話すなど、当たり前のことかもしれませんが、自分の中にはまだ浸透していないと感じました。また、土木技師や建築技師の設計図を作成するなどの専門知識が必要な部署があり、そのような部署に行きたいと思ったら、勉強する必要があるということを知りました。報告・連絡・相談は徹底して行っていると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

役所には様々な課があり定期的に部署を移動するため、様々な知識を自分のなかに持っていないことが分かりました。また、私は新しく挑戦するということに楽しく取り組めることを新しく発見しました。様々な情報を毎日自分の頭で理解出来るまで繰り返しながら取り組み、失敗を恐れずに日々成長出来るよう、常に何事にも挑戦する気持ちを忘れないようにします。また、どんな場面でも臨機応変に対応出来るようになりたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	鶴丸海運株式会社		
実習期間	2023年9月5日(火)から9月7日(木)まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

- 9/5(火) オリエンテーション、会社概要、安全教育
9/6(水) 鉄鋼物流部小倉営業所で職場体験
9/7(木) 簿記問題、感想、強みを人事の方の前で発表

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

三日間のインターンシップを通しての反省点は、もう少しハキハキと話をするべきだった点です。元々緊張しやすい性格とインターンシップに参加するのが一人だけという環境が相まって、声が小さく良い印象を与えられませんでした。緊張する癖は簡単に治るものではないので、今まで以上に人前で話す機会を増やし、説明会などに積極的に参加することで場数とともにこの点を改善し、今後の就職活動で後悔の残らないように努めたいです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルは、コミュニケーション能力と行動力です。三日間のインターンシップで本社の方や鉄鋼物流部小倉営業所の方々と様々な話をさせていただき優しく丁寧に目を見て話をされていて、取引先や顧客と接する時はこうあるべきだと再認識することが出来ました。また、私が参加した際、新しい取り組みの話がされていて、まずやってみようという精神が企業の発展に繋がると理解することも出来ました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで学んだことは、分からないことはそのままにするのではなく、理解するために今何をすべきかを考えることが重要ということです。私は今まで、一度説明をされて分からないときに、なんとなくで終わらせることが多かったです。しかし、社会ではそれが通用しないのだと今回のインターンシップで気がきました。今後はこの経験を活かし、分からない事は分かるまで質問をし、今まで不完全で終わらせていたことを完璧に出来るようにしたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	中間市役所		
実習期間	2023年8月22日(火)から8月24日(木)まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

- 8/22(火) オリエンテーション・施設見学
歯科検診受付補佐・職員手当や支援の説明
採用試験制度調査
- 8/23(水) 共済制度・子育て支援制度等の研修
職員研修の準備・研修
- 8/24(木) 都市計画課・企画課・子ども未来課
安全安心まちづくり課の業務説明・総括

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

実習では、緊張しすぎずにコミュニケーションをとることが出来ました。また、初日の施設見学・説明では、市役所にある課が具体的にどのような業務を行っているのかなど、文章だけでは分からない様々なことを詳しく学ぶことが出来ました。そして、職員の支援・待遇・福利厚生について学び、疑問部分については積極的に質問し、理解していくことが出来ました。実習を通して、市役所では各課それぞれ違う市民のサポートを行っていることを改めて理解することが出来ました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

私が社会人が特に身に付けていると感じたスキルはコミュニケーション能力です。住民に決められた税を課す「課税課」では、課税課で課せられた税金を納める「収納課」や住民の戸籍に関する様々な登録や手続きを行う「市民課」とコミュニケーションをとりながら市民生活のサポートを行っています。このように一つの課で完結するのではなく、たくさんの課で連携して業務をこなしているところを見て、コミュニケーション能力を身に付けていると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

私は将来公務員になりたいと考えているため、中間市役所での実習はとても貴重な経験になりました。今回のインターンシップで学んだ、「どういう公務員になりたいのか」や公務員の仕事内容、公務員に必要なスキルなどの事柄を、これからの公務員勉強などに活かしていきたいです。また、就職活動時に良い印象を与えられるよう、積極的な質問や自主的な行動で自分からコミュニケーションをとるなど、日頃から意識して継続していきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	西鉄旅行株式会社 北九州支店		
実習期間	2023年8月14日(月)から8月18日(金)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

- 8/14(月) 会社・業界概要説明・旅行券発券・予約
- 8/15(火) 業務部の朝の流れ説明・旅行券発行・予約・ホテル探し・予約
- 8/16(水) 営業同行
- 8/16(水) 予約人数確認(外線)
- 8/17(木) 営業同行・支店会議参加
- 8/18(金) 営業同行・パンフレット整理・乗車券作成

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

自分が出来ることには限界があって、ただでさえ多忙な中で時間を割いて教えていただいていることは常に頭に置いておかなければならなかったと感じています。特に内線をとる際に、使い慣れないこともあり萎縮してなかなかとることができませんでした。苦手なことから逃げってしまう傾向があると気付きました。後半からとれるようにはなり、データ作成等で褒めていただけことはありましたが、もっと学びたいという姿勢が足りなかったと反省が残りました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

基本的なことですが言葉遣いや言い回しが身に付いていると感じました。お客様と関わる機会が多い旅行業なので、電話の鳴る機会が多かったです。その際にテンプレートに頼りすぎて、その型以外になると言葉に詰まり対応ができませんでした。社員の方の言い回しを真似しようと観察すると同じフレーズでも声のトーンを上げている方やその人によって表現や伝え方が違っていたのでこういう使い方もあるのかと常に勉強になる環境だったと感じています。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

一人ひとりが受け持つお客様の多さと、その方々が満足していただけるように全体が協力して働かれていて人と人との繋ぎの強さを様々な場面で見ることが出来ました。今回のインターンシップでは、自身の弱みも知れたと思っています。また慣れてくると気が緩み、ミスにも繋がってしまうので、程よく緊張感をもって常に関わる人への感謝を忘れることのないように、今後の大学生活に活かせるよう努力を続けていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	西日本フード株式会社		
実習期間	2023年9月14日(木) から9月16日(土) まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

- 9/14(木) スケジュール説明就活アドバイス
ニッポンハムグループ、西日本フードについての説明
- 9/15(金) 現場見学・ルート同行
- 9/16(土) FA、MR についての説明・市場調査

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

食品に関する営業を体験して、営業では何が大切なのかを知るという目標を達成することが出来ました。お客様との些細な日常会話で信頼関係を築いていき、腹を割って話せる関係性になるまでには時間がかかることを実感しました。知りたいことを質問したり、悩んでいることや就職活動に対する不安への解決策もアドバイスいただき、実りのある実習にすることが出来ました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

営業スキルは勿論のこと、コミュニケーションを通して信頼関係を構築することや、臨機応変な対応が重要だと感じました。信頼関係が築けていると、お客様に商品を見せずとも取引していただけることがあると教わりました。また、お客様が全員優しいというわけでもなく、商品を届ける時間が一分でも遅れたらお叱りを受けるということを営業同行の際に体験し、人それぞれの性格や事情があるからこそ、多くの人と付き合いしていくことの難しさを学びました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回の実習で食品の営業を学ぶことができ、興味を惹かれたため、就職活動で一つの選択肢として捉えることができると考えました。信頼関係を一番学ぶことが出来たため、自分と合わない人がいる場合でも、自分から関わりをなくすのではなく、うまくコミュニケーションを図ることに挑戦していこうと考えています。社会に出ればどんな人とでも必ず関わる機会があると教わったため、これからコミュニケーションの図り方を学んでいきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	西日本フード株式会社		
実習期間	2023年9月14日(木)から9月16日(土)まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

- 9/14(木) オリエンテーション
小売業の業態説明(SM、GMS など)
企業説明(ニッポンハムグループ、西日本フードなど)
- 9/15(金) ルート同行
- 9/16(土) FA(フードアドバイザー)について、仕事説明
市場調査、市場調査の結果・考察、発表

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

実習を通して、小売業の様々な業態や SM や GMS というものがどのスーパーに当てはまるのかなどについて知ることが出来ました。二日目に体験したルート同行では食肉のルート営業を体験し、車内で営業において必要なスキルを教えてくださいました。反省点としては、営業所に帰るまでの間、話をする機会があったのにもかかわらず、自分から話しかけることをせず時間を無駄にしてしまったことです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルは気遣いです。ルート営業の際に昼食に連れて行っていただいたのですが、私がお手洗いに行っている間に冷えてしまったからと、同じ商品を頼んでくださいました。また、市場調査でお弁当を購入した際、社員の方がお箸を人数分とって、このようなささやかな気遣いが出来るところもスキルなのだと感じました。私もこのような気遣いが、意識せずとも出来るようになりたいと感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで学んだささやかな気遣いが意識せずとも出来るようになれば、社会人になってからや、これからの大学生活でも役に立つだろうと感じました。学校のミニツツペーパーやレポートの書き方を工夫したり、アルバイトでは常に周囲を観察し、机の上が汚れていたら綺麗にするなど、意識次第で工夫できることがたくさんあると思います。今後の就職活動でも、エントリーシートの書き方、写真の写り方など意識できるよう心掛けていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	日本電通株式会社 北九州営業所		
実習期間	2023年8月28日(月)から9月1日(金)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

- 8/28(月) オリエンテーション・社会人の基礎的な心構え
- 8/29(火) 自己紹介・現場同行
- 8/30(水) 現場同行
- 8/30(木) 現場同行
- 9/1(金) レポート記入・座談会

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

今回の実習を通しての成果は日本電通の方々が仕事をする上で大切にしている「利他の心」を学習出来たことです。この理念は仕事や社員間でのコミュニケーション、特に営業に配慮されていて今回の実習で一番の成果だったと感じています。目標は情報通信業の営業職における仕事を知ることでした。三日間の営業の同行で係長が温かく仕事を教えてください、目標は十分に達成することができました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

今回の実習で感じた社会人が身に付けていると感じたスキルは、何をするにも関係者に早く連絡を入れることです。部長は「即実行」と仰っていました。現場同行させてもらった三名の係長は、顧客からの連絡はすぐに応答しており、メールもこまめに確認していました。営業後も、上司に商談内容とその後何をするかすぐに報告していました。会社は組織で活動するため一人ひとりの行動に責任感が伴い、報連相の徹底が学生よりも重要な事だと感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回の実習で印象的だったことは、顧客との信頼関係の強さです。初めての現場同行の際に「ここまで信頼関係が出来ているのは何故ですか」と質問すると、係長が「私は、嘘をつかない、約束を守ることが一番大切だと思います」と回答してくださいました。私はこの考えに利他の心と悪徳な営業は絶対にしないという意味を感じました。この考え方を今後の様々な場面で活かし、たくさんの信頼関係がある大人になりたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	ネットヨタ北九州株式会社		
実習期間	2023年9月20日(水)から9月22日(金)まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

- 9/20(月) オリエンテーション・業界、会社説明・店舗見学
9/21(火) 外回り同行・当番同行
9/22(水) 洗車・車両確認・自己分析・ローン・保険の申請見学

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

今回の実習を通しての成果は、自動車営業職における仕事内容を学習出来た事です。私の想像では車の販売が仕事のほとんどを占めていると思っていました。しかし、実際は車検の案内や修理、保険の加入誘導などがあり、特に外回りがあ
ることは意外でした。トヨタ車は他にもディーラーが多くあります。そのなかでもネットヨタ北九州の売上が良い理由には、この
ように仕事が幅広く、アフターフォローも手厚いからだと感じました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

実習で感じた社会人が身に付けているスキルは、信頼してもらうための過程です。営業の社員の方々の最終目的は車を
買っていただく事なのですが、その過程でお客様に信頼してもらう必要があります。そこでの社員の対応は学べるところが多く
ありました。例えば、目的の車がなければ生産の目途が立ってすぐ連絡する、担当の方が異動になったら引き継ぎの方が
お客様の家庭を回って挨拶に行くなどです。信頼していただき、関わりを増やすことが大切だと感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

実習を通して今後活かしたいと思ったことは、他人に寄り添って信頼してもらうという事です。車は人生でも高い買い物
になるため、買っていただいたお客様とは付き合いが長くなることも少なくないようです。その信頼を得るまでの過程は技術的
なことはほとんどなく、どれだけ寄り添えるかが大切だと私は感じました。これは私たち学生もできることだし、そうすることで信
頼関係を築くこともできて人生においてもプラスになるので、今後活かしていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	ネットヨタ北九州株式会社		
実習期間	2023年9月20日(水)から9月22日(金)まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

9/20(水) オリエンテーション、会社説明、会社見学
9/21(木) 社員同行
9/22(金) 車両チェック、自己分析

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

実習は、自動車の新車販売店と中古車販売店の二店舗で行いました。ネットヨタ北九州では車を売るだけではなく、主に車を購入して下さったお客様へ安全かつ安心なカーライフを過ごせるようアフターフォローをすることが仕事のメインということを知りました。その中で社員の方と同行させていただき、お客様との会話を側で見させてもらって思ったことは、お客様のライフスタイルを把握し、お役に立つ情報を提案する事が、お客様との信頼関係にも繋がってくるということです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社員の方が身に付けていると思ったスキルはトーク力です。営業職なのでたくさんの方と接することがあるのはもちろん、車は人生の大きな買い物となるため、それを購入していただくためには信頼関係が必須です。営業の方の一日は、主に車を購入して下さったお客様へのアフターフォローが大半でした。実際に同行して間近で働く姿を拝見し、長いお付き合いとなるなかで信頼関係を築く為には、トーク力が大事だと考えました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで学んだことは、大きく三つあります。一つは営業職について、二つめは一人でも多くの人に出会い信用していただけるお客様を増やしていくこと、最後にアフターフォローや役立つ情報を常に提案することです。これらの学んだことを日頃から意識し、ゼミでの課外活動で外部の方と連携する際には、信頼関係を築くことや協力することなどを大切にして活かしていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社ハウディ		
実習期間	2023年8月23日(水)から8月25日(金)まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

8/23(水) グランメッセ熊本で試食会

8/24(木) 営業同行

8/25(金) 営業同行

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

私は、営業の仕事内容を理解するだけでなく、働かれている方々の姿勢や、誇りをもって取り組んでいることをインタビューするという目標をたてて参加しました。実際に営業同行させていただき、移動中は質問を含めた雑談をすることが出来ました。営業の仕事だけでなく、ハウディで働いている人の特徴や、採用される人の特徴を知ることが出来たので目標以上のことを達成出来たと感じました。この情報を活かして就職活動を頑張りたいです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

三日間を通して社会人が身に付けていると感じたスキルはコミュニケーション能力と顧客への配慮です。営業同行をさせていただいた際、担当の栄養士の方や配膳をされている方の些細な会話や挨拶を見ていると、信頼関係が築かれているなど感じ、この信頼関係が営業をするうえで大切だと教えていただきました。また、私が同行した営業先が合計で20か所以上あり、その施設によって荷物をおろす時のルールやチェックの仕方を変えていて、顧客に寄り添っていると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで学んだことは、ずっと気を張るのではなくメリハリをつけることが大切ということです。営業同行させていただいた方々を拝見していると、施設に入る前と後で別人のように振舞われていて、力を入れるところ、抜くところのメリハリのつけ方を肌で感じる事ができました。この経験を活かし、全ての事に注力するのではなく大事なことを効率良く進められるよう自分の中でコントロールできるようになりたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社ハウディ		
実習期間	2023年8月23日(水)から8月25日(金)まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

8/23(水) 展示会見学

8/24(木) 営業同行

8/25(金) 営業同行

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

私はテキパキ行動すること、積極的に質問をすること、何事にも全力で取り組むことを目標に参加しました。荷物を運ぶ際にテキパキ行動ができたことで、他の仕事も任せてもらうことが出来ました。また仕事へのやりがいや、営業をするうえで重視している事、身だしなみに特に気を遣っていること等を学ぶことが出来ました。しかし、質問した答えのみを聞き出す事しかできず答えから関連した内容をさらに広げ、質問していく力がまだ足りていないと反省しました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

まずコミュニケーション力です。自然体で話すことや、あらかじめ話のネタを頭に入れておくこと、相手が話すのを待つのではなく自分から積極的に話し掛けることを工夫していました。また会話をしていく中で自分との共通点を見つけ、そこから会話を広げて話していました。次に分からないことがあれば常に勉強をしているということです。例えば介護食では食材の切り方だけでなく、とろみをつけるなど知らないことがあれば常に勉強していることを学びました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

食品業界や仕入れから商品情報提供までの流れなど様々なことについて学ぶことが出来ました。なかでも印象に残っている事は営業同行で、効率よくお客様のもとに届けるための計画力や、傾聴力、意見の違う相手にもお互いの立場を理解したうえで行動する柔軟性を持つことが必要だと学びました。これらの学んだことを活かして、就職活動に取り組んでいだけでなく、人と関わる際にも様々な視点から物事を考え、行動できるようにしていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社ハウディ		
実習期間	2023年8月23日(水)から8月25日(金)まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

8/23(水) 展示会参加
8/24(木) 営業同行
8/25(金) 営業同行

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

初日の展示会ではハウディの役割を学び、社員の方々の雰囲気も感じることが出来ました。二日目、三日目は営業に同行させていただき、取引先の方との繋がり大切さ、それを構築するためのコミュニケーション能力の重要性を学ぶことが出来ました。そして私自身も同行させていただいた方と積極的に話し、コミュニケーション能力の向上に努めました。そして、実際に働いている社員の方々の姿を拝見でき、改めて自分の将来について考えるきっかけとなりました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルは、二つあります。一つはコミュニケーション能力です。取引先の方と話す際、自然体で事前に話す内容を頭に入れ、こちら側から話を振り共通の話題を見つけることが重要であると教えていただきました。二つめは、身だしなみを整えることです。営業職に就いている以上、関わる相手が存在するため、第一印象を良くするために身だしなみは欠かせないものでした。当たり前のことを当たり前にするのも大切であると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回、ハウディでの三日間で学んだことは、コミュニケーション能力と当たり前のことを当たり前にする大切さです。これらは、社会人として働くうえで必要なことですが、就職活動にも活かせると感じました。そのため、日常生活で初対面の方と話す際は、自然体で事前に話す内容を決めておくことなど、意識していこうと考えます。また身だしなみ等、当たり前のことを当たり前に行えるように手を抜かず、物事にも全力で取り組んでいこうと考えます。

九州国際大学インターンシップ

【 実 習 レ ポ ー ト 】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社ハローデイ		
実習期間	2023年8月30日(水) から 8月31日(木)まで	実習日数	2日間

●全日程の具体的実習内容

8/30(水) オリエンテーション 業界説明(食品小売業) 企業説明(ハローデイについて) 店舗見学(門司港店・足原店)	8/31(木) コトPOP 作り方・コトPOP 作成 店舗見学(徳力本店) 質問コーナー(青果部・フロア部) 業務体験(青果部)
---	---

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

今回の実習で、食品小売業の実情や裏側、スーパーやハローデイの歴史を知ることが出来ました。実習の中で、他大学の学生と協力してグループワークやクイズを行い交流を行いました。自己評価としては、他の学生と話しながら協力出来たこと、社員の方に質問をたくさん出来ることが良かった点だと考えます。反省点は、自分から一番に発表が出来なかったことです。この点に関しては、積極的に行動は出来ていなかったと考えます。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

私が感じたスキルは伝達力です。社員の方々はPowerPointを使った説明の際に、画面や原稿ではなく学生を見ながら説明を行っていました。また、ただ説明をするだけでなく学生に話題を振るなど、こちらを巻き込んだ説明の仕方を見て、会社や事業内容を理解しているからこそ出来る事だと考えました。店舗見学では、説明をしながら棚の整理を行いつつ、気持ちの良い接客を行っており、アルバイトと社員の違いを感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで学んだことは、知りたい情報を掴むためには積極的に行動しなければならないということです。今後就職活動やインターンシップに参加していくうえで、状況を見ながら積極的に質問をするようにしていきたいと考えております。移動中の車内で担当の方とたくさんお話ができ、社員の方と雑談まじりで質問が出来たのは、今後のインターンシップでも活かしていける能力だと考えています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	防衛省 自衛隊(福岡地方協力本部)		
実習期間	2023年8月23日(水)から9月1日(金)まで	実習日数	4日間

●全日程の具体的実習内容

- 8/23(水) 陸上自衛隊概要説明・玖珠駐屯地見学
- 8/29(火) 航空自衛隊概要説明・築城基地見学
- 8/30(水) 海上自衛隊概要説明・護衛艦あけぼの見学
- 9/1(金) 陸上自衛隊福岡駐屯地見学

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

実際に現役で働かれている方に質問を行い、リアルな現場の声を聴けたことで、日常生活であまり関わることのない自衛隊という組織について深く学ぶことができました。反省としては、メモを取っていたものの取る量が少なかった点と、ロープワークなどの実習の際にもっと積極的に参加し、自身の学びが少しでも多くなるような行動をすべきだった点だと考えます。また、もっと積極的に質問すべきでした。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

自衛官の方々は、全員礼儀などの気配りが徹底しているという印象を受けました。施設を見学する際や他の部隊の方に説明を依頼する際など、とても礼儀正しくされていました。また、見た目の清潔感にも気を遣われていて、外で汚れやすい仕事にもかかわらず制服にアイロンがしっかりかけられていて、靴もかなり綺麗に磨かれていました。内面の礼儀や言葉遣いはもちろん、外見にも気を付けておられて深く感銘を受けました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップでは、陸・海・空それぞれの職種の方からたくさんのお話を聞くことができ、進路の選択肢の一つとして検討したいと思いました。そして、自衛官の方から学んだ礼儀や言葉遣いといった内面のスキルだけではなく、外見まで気を配るということは、どの業界や企業でも必要不可欠なものだと考えます。これから始まる就職活動に向けて、今回学んだことをしっかりと頭に置きながら取り組んでいきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	防衛省 自衛隊(福岡地方協力本部)		
実習期間	2023年8月29日(火)から9月1日(金)まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

- 8/29(火) 航空自衛隊の概要説明
整備補給群司令による講話・施設内見学
一般大卒幹部等との懇談
- 8/30(水) 海上自衛隊の概要説明・施設内見学
手旗・結索体験・幹部との懇談
- 9/1(金) 陸上自衛隊の概要説明
安全保障に関する講義・就業体験・高官講話・懇談

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

インターンシップを通して、自衛隊の内部構造や仕事内容などを知ることができました。また、航空自衛隊や海上自衛隊、陸上自衛隊の方々から話を伺い、自国を守る活動について学んでいくことで、より自衛隊への興味が湧きました。また、インターンシップに行こうと思ったきっかけは「カッコいい」「見てみたい」という少しの興味からだったのですが、本当に貴重な経験が出来たので行くことができ良かったなと感じました。そして、疑問点は積極的に質問をすることができました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

自衛隊の方が特に身に付けていると感じたスキルは協調性です。佐世保基地の海上自衛隊を訪れた際に海上自衛官の方と懇談させていただきました。そこで海上自衛官の方が、一つの船舶を動かす際には船員全員で動かしていく必要があるため、一つの家族として考えることが重要と伺い、自衛隊の方は特に協調性を身に付けていると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

自衛隊は様々な職種に応じた教育機関が充実しており、人材育成のための環境が整えられていると感じました。また、家族への支援体制や福利厚生も充実していることを学びました。そして、あらゆる危険に対して日頃から対策、対応を行うことで、私たちの安全な生活に繋がっているのだと学びました。この学びを活かし、困っている人がいたら積極的に手伝うなど、協調性を高めていく行動を心がけていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【 実 習 レ ポ ー ト 】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	防衛省 自衛隊(福岡地方協力本部)		
実習期間	2023年8月29日(火)から9月1日(金)まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

- 8/29(火) 航空自衛隊概要説明・施設見学
航空機、装備品見学・体験喫茶、懇談
- 8/30(水) 海上自衛隊概要説明・講話・体験喫茶
鑑艇見学・資料館見学
- 9/1(金) 講義・就業体験・体験喫茶・高官講話懇談・アンケート

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

インターンシップを通して、自衛隊について詳しく学ぶことができました。自衛隊の仕事は国を守ることですが、そのためには地域の方の協力と理解が必要であるため、コミュニケーションを図るためにイベントを開催していることを知りました。また、隊員の方との懇談ではリアルな話を聞くことができました。やりがいや職種の違い、休暇について等、様々なことを知ることで、自衛隊についての理解が深まり、今までより自衛隊を身近なものに感じるようになりました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルは二つあります。一つは、挨拶や言葉遣いなどの礼儀です。すれ違う隊員は必ず挨拶をしてくださり、言葉遣いも丁寧だと感じました。挨拶一つとっても、大きな声で聞き取りやすかったです。二つめはコミュニケーション能力です。隊員の方との懇談は会話しながら質疑応答をするかたちで、こちらが考え込み少し詰まっても上手く話題を広げてくださり、会話のスキルがとても高いと感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

自衛隊のインターンシップで学んだことは、礼儀の大切さやコミュニケーション能力です。この二つはどのような仕事に就いても必要な能力であるため、日常生活でも意識して行い、就職活動で活かしていきたいと考えます。特に、これからのインターンシップや面接でそれを発揮し、企業に良い印象を与え、就職活動を有利に進めていきたいです。そして、就職後もこれらの能力は必要と考えるので、就職活動だけにとらわれず継続的に意識していきます。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社ホットウィル ライフラボ戸畑		
実習期間	2023年9月4日(月) から 9月8日(金)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/4(月)会社概要説明・施設内見学・TRX
9/5(火)朝のお迎え同行・TRX・折り紙・マシン
9/6(水)TRX・新聞紙、チラシでゴミ箱作り・マシン
9/7(木)ゴミ箱作り・マシン
9/8(金)他部署見学・マシン

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

リハビリにも様々な種類があるなかで、ライフラボ戸畑は「出来ることは自分でしてもらう」という自主的なスタイルをとっていました。利用者さんも「自分が次何をするのか」等のスケジュールを覚えて動かれている方が多かった印象です。出来ることが分かると同時に、ある程度の自立してもらえることがスタッフは勿論、ご家族や本人も良い環境であることから、ライフラボ戸畑の利点であることを知りました。反省としては、もう少し自ら出来ることを見つけられたのではないかと感じています。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

端的に伝える力だと感じました。利用者さんは高齢なので長々とした説明は覚えられないことが多いです。混乱してしまうとご本人や他の利用者さんへのストレスにも影響します。また、忙しくなるタイミングが多々あったので、時間をとられ過ぎる後に響きます。短い時間で重要箇所のみを伝えつつ、漏れがないように理解していただくために、端的な言い回しが身に付いているように感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

他部署見学に行かせていただいた際に「マイナスよりも多くのプラスのことを見つけ出す」という意識面の話をお聞きました。本人だけでなくご家族のケアにもなるし、日常においても取り入れることのできる考え方に感じました。コミュニケーション力や考え方、言い回しの工夫等介護の世界だけでなくこれから活かせる事柄が多くそれに気付けたのは自分の中で大きいです。良い面に注視して生活することは簡単ではないけれど習慣化させていければと考えています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	ホテルクラウンパレス北九州		
実習期間	2023年8月21日(月)から8月30日(水)まで	実習日数	8日間

●全日程の具体的実習内容

8/21(月)実習の流れ確認・客室清掃補助	8/26(土)仕込み準備・宴会サービス業務・宴会場清掃
8/22(火)宴会会場設備補助・宴会サービス業務	8/27(日)休み
8/23(水)宴会会場設備補助・宴会サービス業務	8/28(月)客室清掃補助・ベッドメイキング
8/24(木)休み	8/29(火)客室清掃補助・ベッドメイキング・掃除機がけ
8/25(金)食器整理、準備・宴会サービス業務・宴会場清掃	8/30(水)フロント業務・備品消毒、補充

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

今回の実習では目標としていたホテル業について知ることや、コミュニケーション力の向上を図ることが出来たと感じています。ホテル業は想像していたよりも体力のいる業務であり、丁寧かつ迅速な対応が求められる準備に八割、本番二割と教えていただいた様に、徹底した準備を意識して行っていることが分かりました。また、自らスタッフの方とのコミュニケーションを図り、ホテル業についてだけでなく社会人としての心得や経験談なども聞くことができました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルはコミュニケーション力です。ホテルは清掃や宴会、フロント業など様々な部署が連携して成り立っており、部署内外問わず、お互いに良好な関係性で報告や声掛けを怠らないため、スムーズな連携がとれていることが分かり、社会人として様々な人と仕事をするうえでは円滑なコミュニケーション力が重要であることを強く感じました。また、業務中に全体に声掛けをして場の雰囲気良くしてくれる方もおり、このような場面からも重要性を感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

私はアルバイトの経験がなく、実際に社会の一員として働くこと自体が初めてであったため、一番に仕事をするの大変さを学びました。言葉遣いや良好な人間関係の在り方、積極性など、一言に仕事と言っても求められるものや重要なことは多いと感じました。今回学んだ様々な事をそのままにせず、今後の学校生活で先輩や先生に対する言葉遣い、人間関係等、授業だけでなく日常生活でも意識し、尻込みせず積極的に行動することを心掛けていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名称	ホテルクラウンパレス北九州		
実習期間	2023年8月21日(月)から8月30日(水)まで	実習日数	8日間

●全日程の具体的実習内容

8/21(月)オリエンテーション,館内案内,制服採寸 客室清掃補助業務	8/26(土)宴会サービス業務
8/22(火)宴会サービス業務	8/28(月)客室清掃補助業務
8/23(水)宴会サービス業務	8/29(火)客室清掃補助業務
8/25(金)宴会サービス業務	8/30(水)フロント業務

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

客室清掃業務を行い、お客様を迎え入れる大切さだけでなく宴会サービス業務を行っていく過程で、普段旅行や部活動の遠征などでホテルを利用する際、裏ではどのような仕事が行われているのかを発見することが出来ました。反省点としては、与えられた一つの役割に集中しすぎてしまい、お客様に料理を配膳する前に時間があつたにもかかわらずお箸やお手拭きなどの用意を失念してしまったことです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

客室清掃補助業務において、窓吹きの際は汚れているところだけではなく窓全体から拭き始めることやベッドメイキングのやり方などを教わりました。その後は間違いがないか、教わった通りに出来ているかを確認し、お客様の視界に入る部分にゴミは落ちていないか、シーツなど乱れはないかを念入りに確認しました。社会人の方は業務を素早くこなすことはもちろん、隅々までチェックを欠かさず、何度もしっかりと確認するスキルが身に付いていると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップではたくさんの学びがあつたため、まずは重要だと感じる点をまとめ、説明会に参加しつつ将来どのような仕事に就きたいのかを改めて考えたいと思いました。お客様を迎え入れる際に心掛けなければならないことは何か、フロント業務では受付以外でどのような業務があり、どんな意味を持つのか、それがお客様からどのような評価を受けるのかを考え、常に学んだことを意識しながら自分自身と向き合うことを決めました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社山本工作所		
実習期間	2023年9月14日(木) から 月 日() まで	実習日数	1日間

●全日程の具体的実習内容

9/14(木)会社概要・工場見学・座談会

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

自分の視野を広げるため、前回体験した不動産仲介業とは全く異なる金属製品製造業という業種を希望し、製造業の勤務形態や地元企業がどのような取り組みを行っているのかを学びました。1 dayのインターンシップではありましたが、参加者が私一人だったため、座談会を通して先輩社員の方たちに沢山の質問をすることが出来ました。金属製品製造業についてしっかりと理解することが出来たため、とても有意義な時間を過ごすことが出来たと感じています。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

全員で働きやすい雰囲気づくりをする協調性やコミュニケーション能力が必要なスキルだと感じました。工場の見学をさせていただいた際、工場内の皆さんが通りすぎる社員同士で挨拶を行っていて、とても雰囲気が良いと思いました。また、工場という特性上、危険を伴う場面もあることから、危機管理の徹底や体調管理など細かいところまで確認しており、上司への報告・連絡・相談がきちんと出来ているなと感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

仕事と聞くと、なんとなくBtoCの企業を思い浮かべていましたが、製造業のような普段目にする事のないBtoB企業のインターンシップに参加して、一気に就職活動の視野が広がりました。また、製造業の仕事を就職活動の一つの軸にしたいと感じたため、職業を探すときの参考にしたいです。また、地元にもこのような良い企業があることを知ることができたので、「山本工作所って何してるの」と聞かれた際には、自信をもってアピールしたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社ゆめマート北九州		
実習期間	2023年9月13日(水) から9月15日(金) まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

- 9/13(水) オリエンテーション
店舗見学(新下関店・恒見店・門司店)
- 9/14(木) 青果部門業務体験(果物・野菜パック、商品陳列)
- 9/15(金) 青果部門業務体験(果物・野菜パック、品質チェック)
プレゼンテーション

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

店舗見学や実際の業務体験を通じて、他の競合店との違いを生み出し、顧客を獲得するための「差別化」にこだわっていることが分かりました。また、店頭で陳列するためのパック作業では、細やかな作業で苦勞することもありましたが、店頭でお客様が商品を手にとってくれた時の喜びを感じることが出来ました。従業員の方は、「商品を売る喜びを感じられることが小売業の魅力」と仰っており、それを実感したことで小売業に対する興味を持ってました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

細かく同じ作業が続く場面でも、確認を怠らずに細部までチェックする正確性が身に付いていると思いました。業務体験をさせていただくうえで、同じ作業をしているとケアレスミスをしてしまう場面がありました。品質チェックを店頭で行った際、私が見落としていた商品の細かい部分の状態を従業員の方は確認しており、品質の良いものだけをお客様に提供するためのプロ意識持っていました。正確性は、社会人になるとさらに高度なスキルとして必要になると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

スーパーをはじめとする小売業界が、いかに地域に密着しながら、地域住民に貢献しているかを学ぶことが出来ました。恒見店の店長が、「年配の方が多く来店され、コミュニケーションの場になっているが、こういった居場所になることもスーパーの重要な役目である」と仰っていました。私は、就職をするうえで重視したい部分が、「地域に密着し貢献することが出来る」という点であるため、小売業界も視野に入れながら就職活動の選択肢として活かしたいと考えます。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社芳野ケアサポート		
実習期間	2023年9月4日(月) から9月8日(金) まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

- 9/4(月) 施設説明・見学・研修体験
- 9/5(火) 車椅子操作説明・お客様との交流
- 9/6(水) 血圧体温測定・介助見学・送迎同行
- 9/7(木) お客様との交流・事業所見学・送迎同行
- 9/8(金) 血圧体温測定・リハビリ見学・お客様との交流

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

積極的に利用者さんや職員の方々と会話をしたいと考えていましたが、なかなか自分から話し掛けることが出来なかったことが反省点です。質問することは出来たので、質問以外の会話出来るよう頑張っていきたいです。一言に介護といっても施設ごとに力を入れているところが異なり、雰囲気や利用者さんが全然違って別職業の様でした。利用者さんの車椅子等を動かすときの注意事項について、あまり上手く出来なかったところも反省点です。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

印象を良くするための笑顔・挨拶が、作法として全従業員に行き渡っていることに気付きました。正確で迅速な情報伝達は「報告・連絡・相談」を大切にしながら、コミュニケーションを密にとっていることが基礎だと考えます。また、情報共有を大切にし、お客様に対するサービスの質を向上させるなど、常にお客様目線で物事を捉えていると知りました。私も、これらの大学生活で学んだことを活かしながら、社会人として役立つ人材になりたいです。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

人命に関わるため情報共有を特に大切にしていると感じましたが、私にはそういった経験がなかったため、これからは意識していきたいと考えました。利用者さんの車椅子を動かすときは一声掛けてからと言われていたのに、声掛けのタイミングが遅れてしまったり忘れてしまうなど、慣れないことをする際に他のことが抜けてしまう癖を直したいです。今まで相手に合わせた行動はあま出来ていませんでしたが、実習を通して出来るようになってきたので、これからも実践していきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社リーガロイヤルホテル小倉		
実習期間	2023年9月4日(月)から9月8日(金)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/4(月)	オリエンテーション・企業説明・諸手続き 接遇研修・座談会・庶務 OR 研修	9/7(木)	朝礼・宿泊部座学研修・ベッドメイキング ホテルルーム見学・フロアサービス業務体験
9/5(火)	朝礼・営業同行	9/8(金)	朝礼・庶務 OR 研修・販売促進座学
9/6(水)	朝礼・レストラン業務体験・宴会場の設営		研修レポート執筆

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

今回のインターンシップを通して、サービス業の心得を学ぶことが出来ました。また、私は人前に立つと緊張して早口になってしまうのですが、そういう時こそ落ち着いてゆっくり話した方が、コミュニケーションが取りやすいと営業部の方から教えていただきました。これからは早口にならないよう、ゆっくり話すことを心掛けようと思いました。そして、社会に出たときに、思いやりのある接客が出来るよう、これから積極的な行動や声掛けを心掛けていきたいです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

営業部の方と同行した際、車内で商談の打ち合わせを行いました。私自身、人と話すことはあまり得意ではないのですが、営業部の方に「話すことが苦手なら、事前に頭の中で話の道筋を立てておけば怖くない」とアドバイスをいただきました。このことから、社会人には事前に話し合いの内容を頭の中で組み立て、事前準備をしっかりと行うことで、いざという時に臨機応変に対応出来るのだと感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

状況にもよりますが、お客様と話すときはまずは聞き手に回り、その後お客様が退屈することがないように話しを続ける必要があると感じました。そのためには、話す事の確認を事前に準備しておくことが重要だと学びました。これから、より一層人の話に耳を傾け、人の気持ちに寄り添っていきたく思います。また、社員同士のコミュニケーションにもこの能力は必要だと思うので、これから社会に出て働くうえで活かしていきたいと考えます。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社リーガロイヤルホテル小倉		
実習期間	2023年9月4日(月)から9月8日(金)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/1(月)	オリエンテーション・諸手続き・接遇研修 概要説明・座談会・庶務 OR 研修	9/6(水)	朝礼・鉄板焼きなにわでの体験・宴会場準備
9/5(火)	朝礼・営業部についての説明 営業部の方との外回り	9/7(木)	朝礼・座学・客室センター&ハウスキーパー フロアサービス業務
		9/8(金)	朝礼・庶務 OR 研修・販売促進・グループワーク

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

リーガロイヤルホテルでの実習はアルバイトで学んだ経験やスキルを活かすというより、更にブラッシュアップさせて実践することばかりでした。社員の方々はお客様が何を求められているのか、どうしたら満足していただけるのか等、常に先のことを考え続けています。お客様に対して私のように目の前のことに全力で対応するだけでなく、より喜んでいただくためにデータに基づいた反省と次の計画を練っている姿が実習前のイメージとかなり異なり大変勉強になりました。

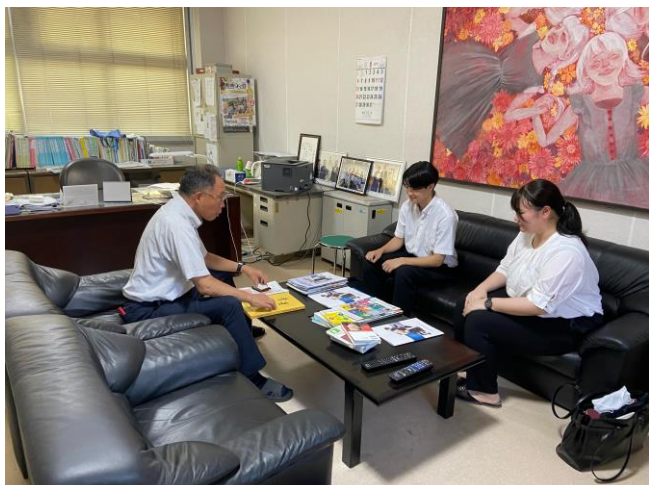
②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

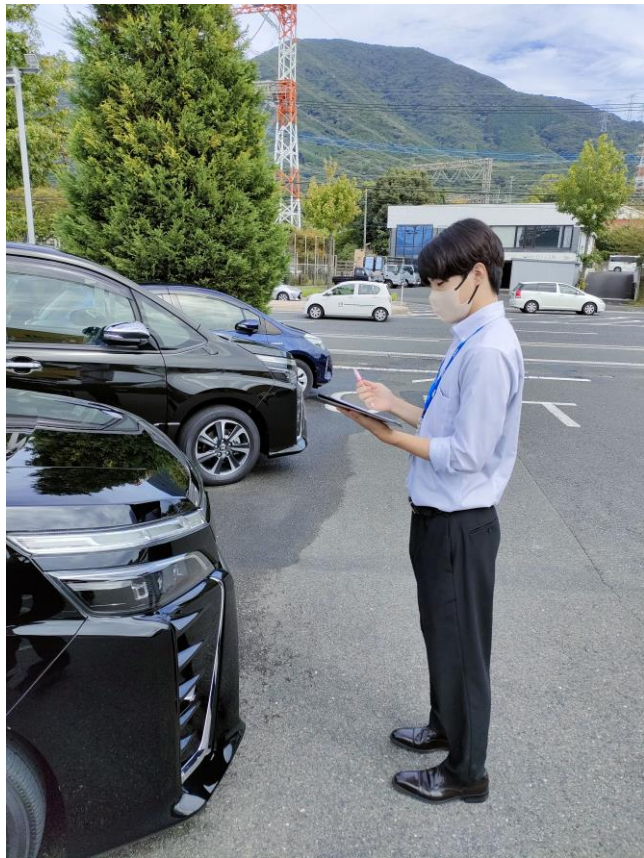
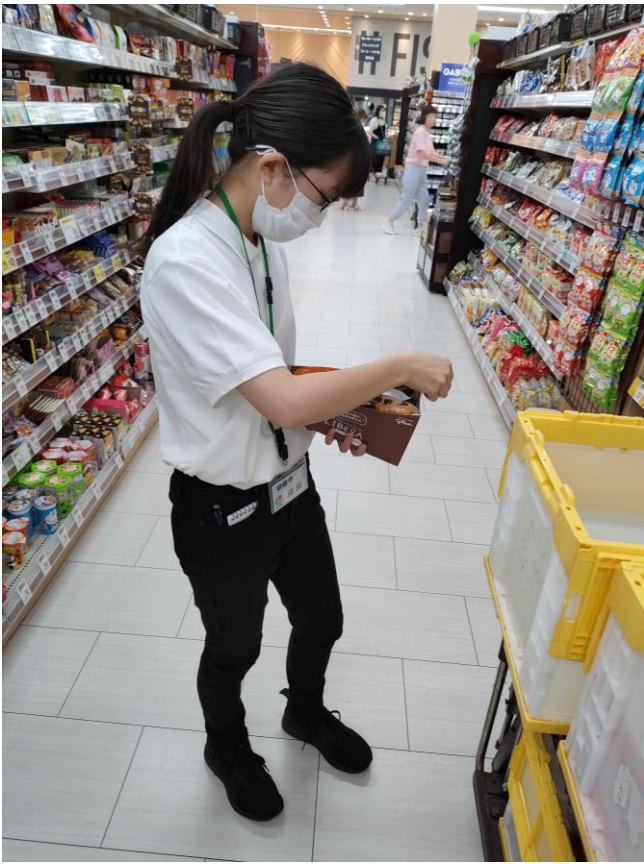
リーガロイヤルホテルの方たちが身に付けていると感じたスキルはエチケットです。初日の接遇研修やそれぞれの部署ごとの体験で感じたことですが、まず最初に身だしなみやお客様に対する礼儀正しい振る舞いに関することを教えていただきました。髪の毛の長さは短すぎてもダメ、ワックスで整える、眼鏡のフレームの色等細かくご指導いただきました。お客様と接するうえで、身だしなみ一つでホテルの印象が悪くならないよう、細心の注意を払っていることがよく分かりました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのようにしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップの担当をしていただいた方は、採用の際面接を担当するとのことでした。そのため、何を重視して見ているか、どういった人材が欲しいのか等、様々なことを聞くことができ大変参考になりました。参考になったことを基に私のここで働きたいという熱意を伝えられるよう面接の練習に取り組んでいきたいと思います。その他にもエントリーシートの作成にあたり、担当者様からもアドバイスを頂けると伺いましたので、そこで他の就活生より印象を残していきたいです。

● インターンシップ実習風景





●インターンシップの受入れについてご協力をお願いいたします。

九州国際大学 夏季インターンシッププログラム

ご協力のお願い

昨今、インターンシップへの関心度や重要性が急激に高まっています。学生側も企業側も「インターンシップに参加することが、採用への必須条件」とも言われている状況です。また、就職活動においても『New Style』が求められ、インターンシップはお互いがより早期に出会う場として期待されています。

どうぞ皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【1】受入れ人数	1人でも可
【2】時期・期間	夏期休暇中の原則 5 日間以上(8月上旬~9月下旬) ※5日間未満の場合もご相談ください。
【3】学生に対する研修	[事前研修]4月より計7回開催(終日研修2回含む)※2023年プログラム実績
【4】実習	受入企業様によるプログラムに基づいて実施
【5】学生に対する事後研修会	全実習生によるグループワーク・プレゼンテーション ※2023年プログラム実績
【6】手当など	原則無報酬。交通費・食費も学生負担
【7】保険加入	学研災付帯賠償責任保険加入。対人・対物1億円の任意保険加入
【8】覚書・誓約書	期間や受入部署等を明記し、大学長名にて覚書を交わす。 就業規則違反や器物損壊など問題が生じた場合は、実習生個人の問題解決を原則とする。トラブル時の責任所在を明確にするために、実習生と受入企業様との間で誓約書を交わす。

■インターンシップで期待される効果(過去受入先企業様のアンケート回答他より)

- * 社内の活性化や研修制度の整備・構築が期待できます。
- * 学生のトレンドやアイデアを自社製品やサービスに採用できる可能性があります。
- * 貴社の属する業界や貴社自身への理解が深まり、実習生の就職先選択肢になり得ます。

■インターンシップに関するご案内・申込書式は、本学ホームページにてご覧になれます。

受入れ可能な場合は大変お手数ですが、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

📄 インターンシップページ 📄 <https://www.kiu.ac.jp/career/recrui/intershi/>

【お問合せ先】

〒805-8512 北九州市八幡東区平野 1 丁目 6 番 1 号

九州国際大学 キャリア支援室 インターンシップ担当(新田・中村・中本)

TEL : (093) 671 - 8917 FAX : (093) 671 - 9029

E-mail : job@office.kiu.ac.jp URL : <http://www.kiu.ac.jp/>

 Kyushu International University
九州国際大学

キャリア支援室

【TEL】 (093)671-8917

【FAX】 (093)671-9029

【Email】 job@office.kiu.ac.jp

【URL】 <http://www.kiu.ac.jp>